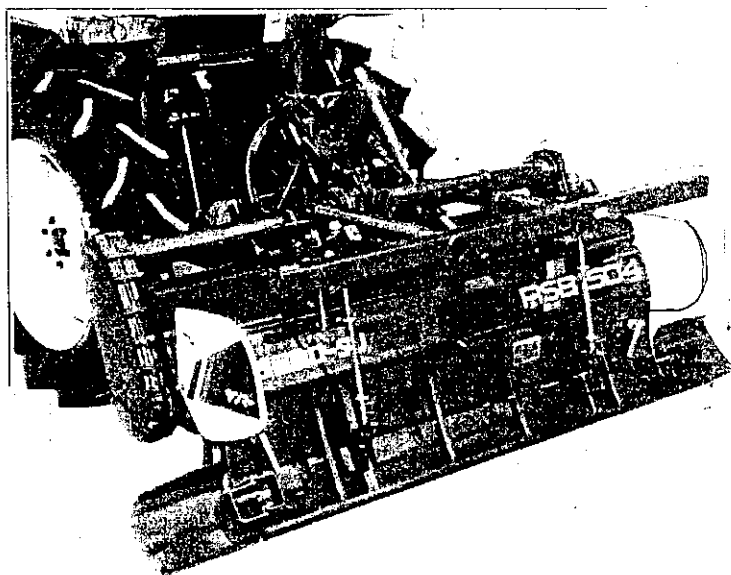


取扱説明書

YANMAR

ヤンマー深浅回動ロータリー

RSB1404・RSB1504
RSB1604・RSB1704
RSC1604・RSC1704
RSC1804
RCB1504・RCC1704




当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本
取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、
事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。



ヤンマ-深浅回動ロータリーを お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は**ヤンマ-深浅回動ロータリー**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みにになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の特約店・販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
-  印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

	安全に作業をするために	3
	サービスと保証について	11
1	各部のなまえとはたらき	12
	安全銘板の貼り付け位置	13
2	取付けかた	14
	1. AF-22・AF-24・AF-26・AF-28 への取付け	14
	2. AF-30・AF-33・AF-33J・AF-35J への取付け	18
	3. 耕うん爪の取付けかた	21
	4. オートロータリーのセットと 調節のしかた	23
	5. OK-UFO仕様ロータリーの 組付後の確認要領	24
3	作業前の点検	27
	作業に適した調節と使いかた	28
	1. 作業に適した耕うん変速	28
	2. ロータリーカバー回動装置の使いかた	28
	3. フロントカバーの使いかた	29
	4. 側板の使いかた	30
	5. 鎮圧スプリングの調節のしかた	30
	6. サイドリヤカバーの使いかた	31
	7. デプスビーム前後調節のしかた	32
	8. リヤカバーロック・逆転PTOの 使いかた	33
	9. 畦立器の取付けと作業のしかた	33
4	取り外しかた	35
5	手入れと点検・調整	37
	1. お使いになる前の点検	37
	2. 定期点検一覧表	37
	3. ロータリーギヤボックスオイルの 点検・交換のしかた	38
	4. ロータケースオイルの 点検・交換のしかた	38
	5. グリスアップ	39
	6. 爪の交換時期	40
	7. 各部ボルトの締付け	40
6	リヤカバーバリエーション・オプション	41
	1. 三角切欠き付(E仕様)	41
	2. フローティングリヤカバー(C仕様)	41
	3. リヤカバー短(B仕様)	42
	4. クイックヒッチ(K仕様オプション) 日農工規格特殊4PオートヒッチAⅡ適用	42
	5. クイックヒッチ(K仕様オプション) 日農工規格標準オートヒッチ(O、I兼)	48
	6. 作業機による特殊な取付けかた	51
	用語解説	52
	ロータリー仕様	53

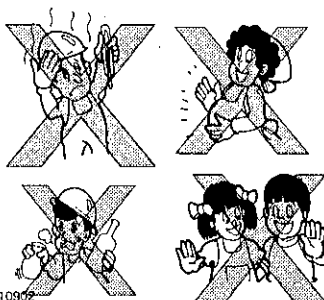
安全に作業をするために

ここに記載されている注意項目を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。
トラクターに装着するときは、必ずトラクターの取扱説明書をお読みください。

● 一般的な注意項目

▲ 警告 こんなときは作業しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 18才未満の人。

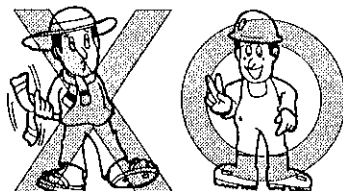


▲ 警告 作業に適した服装をする

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、作業に適した防護具などを付け、だぶつきの無い服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。

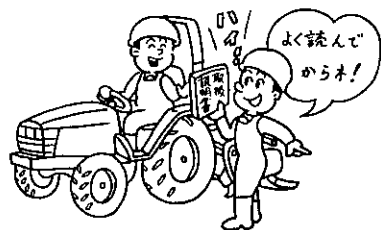


▲ 警告 機械を他人にかすときは

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。



▲ 警告 ロータリーに作業機を装着する時は、作業機の取扱説明書を必ず読む。

ロータリーに作業機を装着する時は、事前に必ず作業機の取扱説明書をよく読んでください。

【守らないと】

傷害事故や機械の破損をひきおこします。



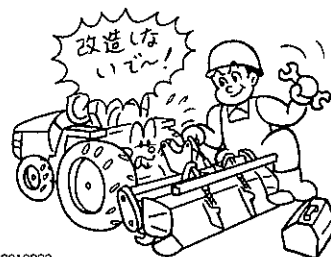
▲ 注意 機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けないでください。

改造をしないでください。

【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



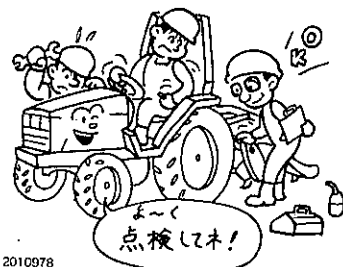
2010983

▲ 注意 点検・整備をおこなう

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



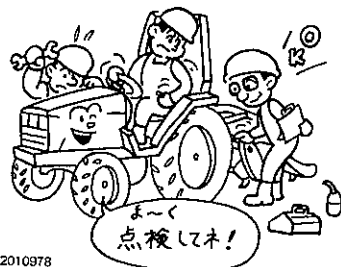
2010978

▲ 注意 定期点検整備を受ける

1年毎に定期点検整備を受け、各部の保守をしてください。

【守らないと】

整備不良による事故や機械の故障をまねくおそれがあります。



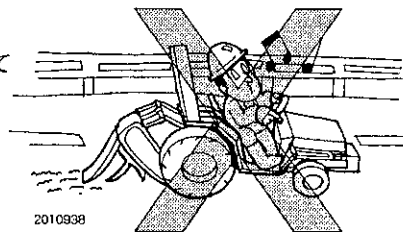
2010978

▲ 注意 公道走行時は作業機の装着禁止

公道走行をするときは、ロータリーなどの作業機を取り外してください。

【守らないと】

道路交通法違反です。事故を引き起こすおそれがあります。



2010938

●作業前後の確認時の注意項目

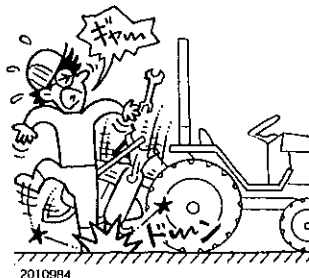
▲ 警告

点検整備はロータリーの落下防止をおこなう

点検整備のときロータリー落下防止のため、油圧ストップバルブを右に回して完全に締めてください。なお、安全のために爪軸に木の台などをしてください

【守らないと】

ロータリーが落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010984

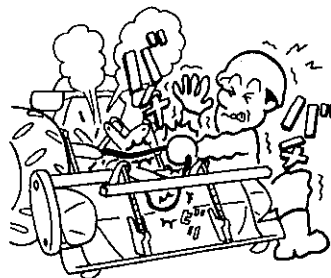
▲ 警告

電気部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして、火災事故をおこすおそれがあります。



2010990

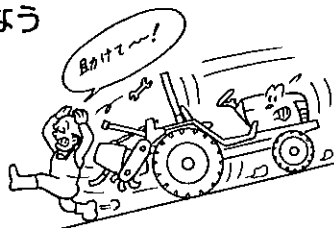
▲ 警告

点検整備は平坦で安定した場所でおこなう

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクターに取り付けた状態ではトラクターの前輪に車止めをして点検整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



2010975

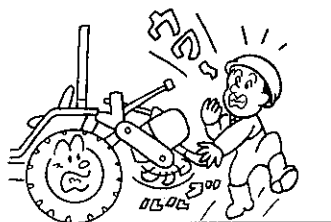
▲ 注意

点検整備は回転部が完全に停止してからおこなう。

点検整備はPTO変速レバーを「中立」位置にし、回転部が完全に停止してからおこなってください。

【守らないと】

回転部にまき込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010977

▲ 注意 カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取外したカバー類は、必ず取り付けてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010972

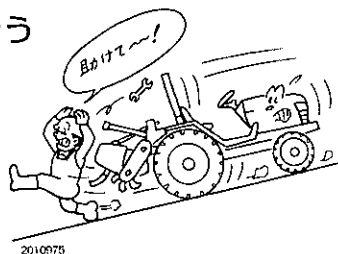
● **トラクターとの着脱に関する注意項目**

▲ 警告 ロータリーの着脱は平坦な場所で行う

ロータリーの着脱は、平坦で安定した場所でおこなってください。夜間は、適切な照明をしてください。

【守らないと】

事故を引き起こすおそれがあります。



2010975

▲ 警告 トラクターとロータリーの周辺に人を近づけない

トラクターを移動してロータリーを着脱するときは、トラクターの周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010941

▲ 警告 ロータリーを上げる場合にはトラクターとの装着を確認する

ロータリー取付け後、ロータリーを上げる場合には、トップリンク、ロアリンク、リフトリンクなどが確実に取り付いた状態を確認してください

【守らないと】

ロータリーが転倒して、事故をおこすおそれがあります。



2010976

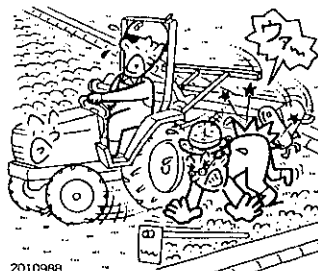
●作業時の注意項目

▲ 警告 ロータリーを付けたときは旋回に注意

ロータリーによってはかなりの長さになるものがありますので、旋回時は周囲の人や物に注意してください。

【注意しないと】

ロータリーが衝突したりして、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010988

▲ 警告 トラクターとロータリーの周辺に人を近づけない

トラクターを移動してロータリーを着脱するときは、トラクターの周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



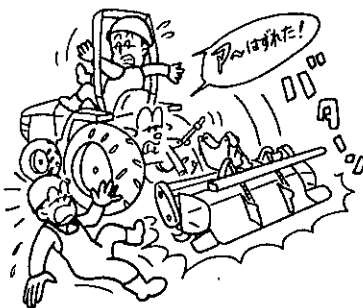
2010941

▲ 警告 ロータリーを上げる場合にはトラクターとの装着を確認する

ロータリー取付け後、ロータリーを上げる場合には、トップリンク、ロアリンク、リフトリンクなどが確実に取り付けいた状態を確認してください

【守らないと】

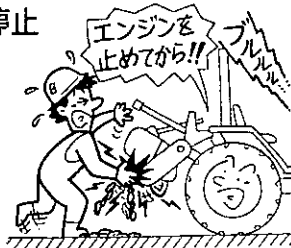
ロータリーが転倒して、事故をおこすおそれがあります。



▲ 警告 爪に巻き付いた草などを取るときはエンジン停止

【守らないと】

機械に巻き込まれて、重傷を負うおそれがあります。



2010949

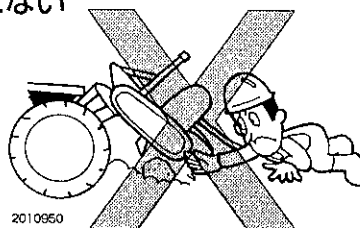
▲ 警告

ロータリーの下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

【守らないと】

何かの原因でロータリーが下がったときに、傷害事故負うおそれがあります。



2010950

▲ 警告

子供を近づけない

子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010941

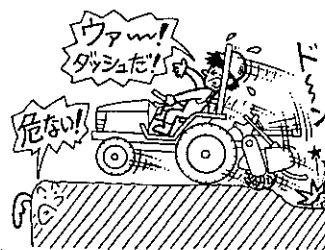
▲ 警告

作業中はダッシュに注意

地面が硬かったり、石の多いところでは、ロータリーをゆっくりと地面に降ろしてください。回転する爪の勢いで機械が思わぬ方向に飛出す（ダッシュ）ことがあります。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010953

●作業終了後・格納時の注意項目

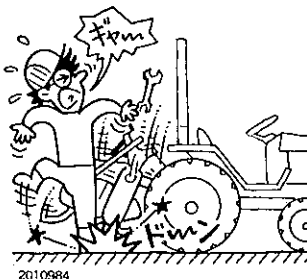
▲ 警告

点検整備はロータリーの落下防止をおこなう

点検整備のときロータリー落下防止のため、油圧ストップバルブを右に回して完全に締めてください。なお、安全のために爪軸に木の台などをしてください

【守らないと】

ロータリーが落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



2010984

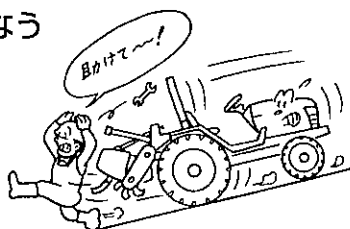
▲ 警告

点検整備は平坦で安定した場所でおこなう

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクターの前輪には車止めをして点検整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



2010975

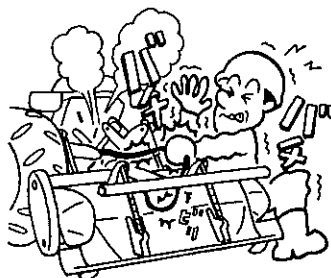
▲ 警告

電気部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして、火災事故をおこすおそれがあります。



2010980

▲ 注意

点検整備は回転部が完全に停止してからおこなう。

点検整備はPTO変速レバーを「中立」位置にし、回転部が完全に停止してからおこなってください。

【守らないと】

回転部にまき込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



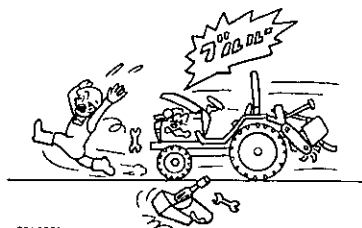
2010972

▲ 注意 点検整備中はエンジン停止

ロータリーをトラクターに取り付けた状態で点検・整備・修理または、掃除をするときは、必ずトラクターの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止してください。

【守らないと】

機械の下敷きになるなど、傷害事故をおこすおそれがあります。



2010961

▲ 注意 カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取外したカバー類は、必ず取り付けてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



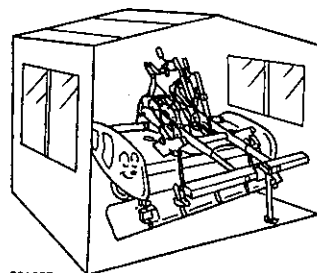
2010672

▲ 注意 ロータリー単体で保管する場合は
平坦な場所におく

ロータリー単体で保管する場合は平坦な場所におき、スタンドを取り付けてください。

【守らないと】

ロータリーが転倒し、傷害事故や、機械の破損をひき起こすおそれがあります。



2010974

サービスと保証について

保証書について

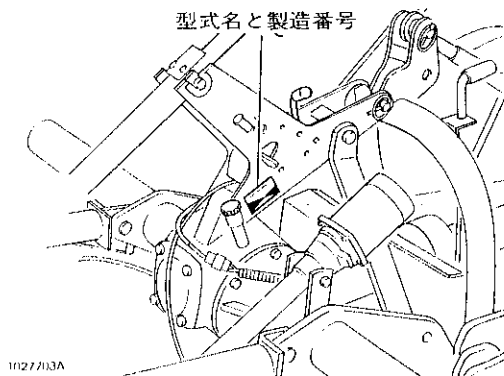
「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに点検、処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、お近くの当社支店までご連絡ください。

〈連絡していただきたい内容〉

- 型式名と製造番号
- エンジンの場合はエンジン番号
- ご使用状況は？
(何速で、どんな作業をしていたときに)
- どのくらい使用されましたか？
(約□□アールまたは約□□時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えてください。



補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後 8 年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

本製品の使用目的について

本製品は、ほ場において農業用トラクターに装着し、土壌の耕うんまたは、農業用作業機を装着しての農作業にご使用ください。使用目的以外の作業や改造などは決して行なわないでください。使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）

各部のなまえとはたらき

サイドロータリー

※図は標準仕様です。

調節ハンドル

ロータリー用作業機を取付けたとき、作業機の姿勢を調節します。

オートロータリー

フィードバックワイヤ

リヤカバーロック

土寄せ作業や、ロータリーの着脱時に使用します。

側板

培土作業などでの土の飛び具合を調整します。

ハンガーロッド

リヤカバーの作業位置を調節するのに使用します。

リヤカバーロックレバー

リヤカバーをロックする時に使用します。

回転ハンドル(標準仕様)

回転ハンドルを回して、ロータリーカバーを作業内容に合わせることで、理想的な耕うん姿勢を確保します。
OK-UFO仕様には、回転シリンダが装備されています。

デブスフレーム

延長リヤカバー
隣接耕などの段差を少なくします。

デブスビーム

ロータリー用作業機や尾輪(オプション)、畦立器などの取付けに使用します。

サイドリヤカバー
片培土作業時や尾輪(オプション)作業時に取外しができます。

サイドロータリー

調節ハンドル

ロータリー用作業機を取付けたいとき、作業機の姿勢を調節します。

オートロータリー

フィードバックワイヤ

側板

耕深により調節します。

延長リヤカバー

隣接耕などの段差を少なくします。

回転ハンドル(標準仕様)

回転ハンドルを回して、ロータリーカバーを作業内容に合わせることで、理想的な耕うん姿勢を確保します。
OK-UFO仕様には、回転シリンダが装備されています。

デブスビーム

ロータリー用作業機や尾輪(オプション)、畦立器などの取付けに使用します。

スタンド

ロータリー取外し時に使用します。

ハンガーロッド

リヤカバーの作業位置を調節するのに使用します。

安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の貼り位置を示したものです。

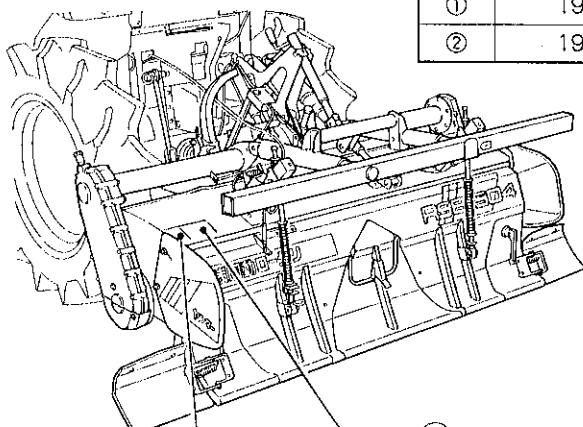
安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。

サイドロータリー

※図は標準仕様です。

紛失または破損された場合には、最寄りの販売店または農協に下記の表を参考にご注文ください。

No	部 品 番 号	備 考
①	195534-10610	
②	195534-10651	



1027701A

①

警告

- エンジンまたはロータリーが回転中は、手や足をロータリーの中や下へ入れないでください。
- ケガをするおそれがあります。

②

注意

使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。

始動 ● エンジン始動時やロータリー回転操作レバーを操作するときは、かならず周囲に人がいないことを確認してください。

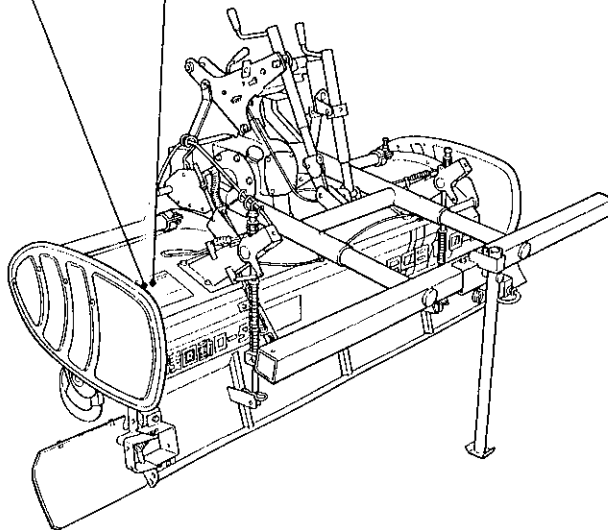
運転 ● 後退時、バック進行時やロータリーを上下位置に操作するときはまわりや後方をよく確認してください。

- ロータリーの上に人を乗せないでください。
- 未開地や石の多い現場では足踏による誘うんは行わないでください。
- ロータリーに作業物を放置するときは作業物の取扱説明書をよく読んで適切な処置や廃棄を行ってください。

整備 ● 耕うん等の交換等を行うときはエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけて、油圧降下防止用のストップバルブを締めてから行なってください。

- ロータリーを搬送するときはトラクターとロータリーの間に立たないでください。

センターロータリー



1027702A

取付け方

1. AF-22・AF-24・AF-26・AF-28 への取付け

⚠ 警告

- 作業機の着脱は、平坦な場所で行なってください。とくに夜間の作業機の着脱は明るい照明を用いるなど、安全に留意して行なってください。
- トラクターを移動して作業機を装着する場合には、トラクター周辺や作業機との間に人が入らないように注意してください。
- ロータリに重い作業機を連結、または装着した場合には、トラクターにバランスウェイトを付け、バランスの良い状態を保ってください。
- 作業機を調整する場合には、トラクターの駐車ブレーキをかけ、また、エンジンを停止し、かつ、PTO変速レバーが「中立」位置にあることを確認したうえで行なってください。
- 作業機の下へもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。
- OK-UFO仕様の場合は、OKボタンを押して「深さ」「傾き」のランプを消灯状態にしてください。

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

⚠ 注意

- 作業機の着脱時または、単体保管する場合はスタンドはぜったい外さないでください。
- PTO軸を使用しないときは、PTOカバーを取付けてください。

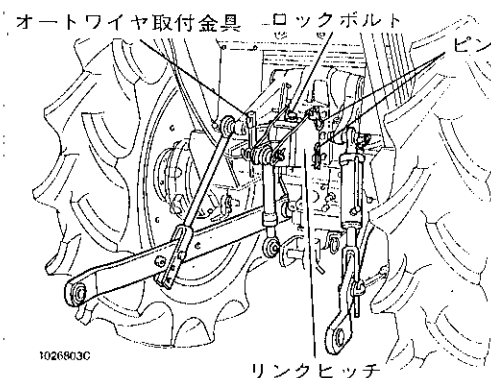
守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

クイックヒッチ仕様(K仕様オプション)は、42ページを参照してください。

リンクヒッチの取付け

リンクヒッチは、本機側のトップリンクヒンジに取付けます。

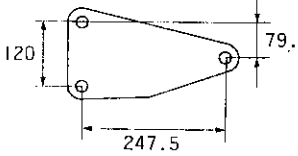
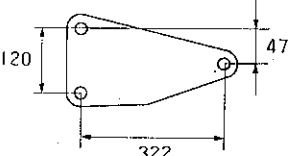
- ① リンクヒッチ側のロックボルトをいっぱい(底づきする程度)時計方向にまわしてください。
- ② ピンを差し込んで、本機側ヒンジと固定してください。
- ③ ロックボルトのスキ間が生じるまで反時計方向にまわしてください。そうすることによりクサビが働き、リンクヒッチのガタツキはなくなります。



【取扱いの注意】

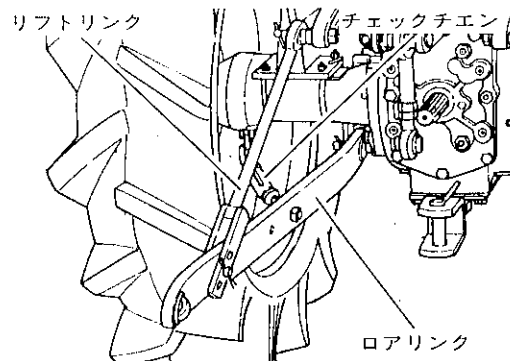
- リンクヒッチ取付時、オートワイヤの取付金具が左側になるようにしてください。
- リンクヒッチは、トラクターにより異なります。リンクヒッチ一覧表を参照して確認してください。
- ピン穴の摩耗によりリンクヒッチにガタが生じた場合は、すみやかに締め付けてください。

リンクピッチ一覧表

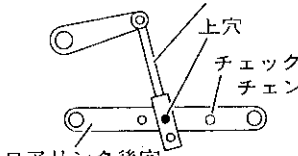
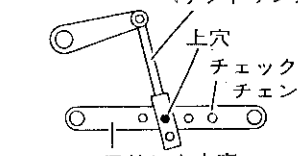
	リンクピッチ
AF-22 AF-24 AF-22ML AF-26ML AF-30ML	
AF-22MH AF-26MH AF-26 AF-28 AF-28J	

リフトリンクとロアリンクの取付け

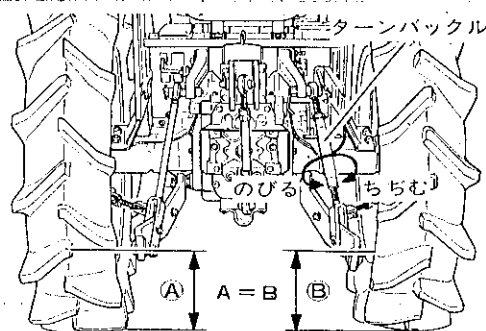
ロアリンクとリフトリンクを組付けます。



リフトリンクとロアリンクの取付穴位置

	取付穴位置
AF-22 AF-24	
AF-26 AF-28	

右側リフトリンクのターンバックルを回して、左右のロアリンクをほぼ同じ高さにします。(EG-UFO仕様は不要です。)



1026207B

【取扱いの注意】

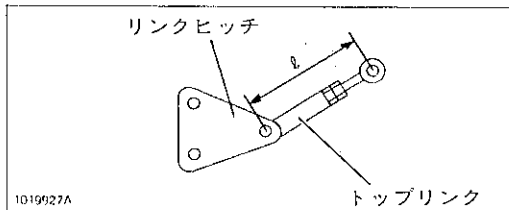
ロアリンク穴位置とリフトリンク穴位置を正しくセットしてください。

正しくセットされていない場合は、次のような不具合が生じます。

- 油圧レバーによりロータリーやその他の作業機を上げたとき、上がりすぎてトラクター本体に接触したり、破損することがあります。
- ドライブシャフトの異音の発生や抜けることがあります。

トップリングの取付け

トップリングをリンクヒッチに取付けます。



トップリング長さは、下表を基準にしてください。

	トップリング長さ(ℓ)
AF-22ML AF-26ML AF-22 AF-24 AF-30ML	260mm
AF-22ML AF-26MH AF-26 AF-28 AF-28J	260mm

【取扱いの注意】

- トップリングはネジ調節式になっています。出荷時には標準長さ(260mm)に調節してありますので、取り付けや取り外すときには調節しないでください。
- トップリング長さの調節は、ピン、穴の摩擦により振動が発生した場合のみ行ってください。調節後は必ず回り止めのロックナットを締め付けてください。

ロータリーのセット

⚠ 警告

- リフトリンクを片側だけ取り付けただけで、ロータリーを上げないでください。
- オートワイヤおよび、ドライブシャフトの着脱時は、必ずエンジンを停止してください。

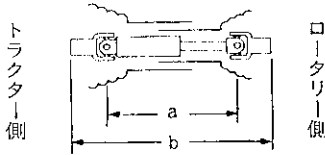
守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

- ① ロータリー本体をロアリンクとトップリングに取り付け、ロータリーをセットします
- ② ドライブシャフトを装着します。

【取扱いの注意】

- ドライブシャフトのロックピンが、PTO軸およびロータリー入力軸の溝に入っていることを確認してください。溝に入るとピンが戻ります。
- ドライブシャフトは、トラクタにより異なりますので、ドライブシャフト一覧表を参照してください。

ドライブシャフト一覧表

	AF-22 AF-24 AF-22ML AF-26ML AF-30ML	AF-22MH AF-26MH AF-26 AF-28J AF-28J
寸 法	$a = 350$ $b = 526$	$a = 433$ $b = 609$
		

※上記寸法は、一番縮めた状態です。

③安全カバーの回り止めチェーンは、次のように取付けます。

PTO側

- PICガードの穴に掛けます。

ロータリー側

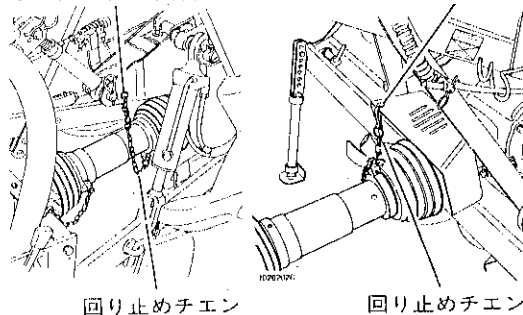
- PICガードの穴に掛けます。

PTO側

ロータリー側

リンクヒッチ下部穴

PICガード穴



④オートワイヤをセットして調節します。
「オートロータリーのセットと調節のしかた」
(P23)を参照してください。

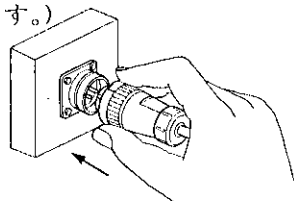
＜OK-UFO仕様の場合＞

- ①キースイッチを「OFF」にします。
- ②コネクタを接続します。

※コネクタの着脱について

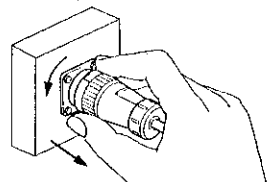
1)装着

プラグとレセプタクルのガイドを合わせ、まっすぐに押し込む。(5本キー方式のためレセプタクルにプラグをあて、プラグを回転させることによってガイドを合わせることができます。)

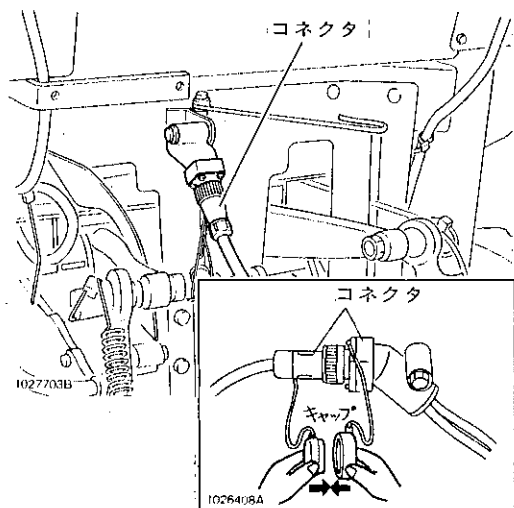


2)抜去

矢印どおりカップリングナットを左へ45°回転させ、引抜きます。



※両方のコネクタ・キャップ同士は、必ず貼り合わせて下さい。



③ワイヤハーネスをクランプします。
トップリンク取付ピンの先端部にワイヤハーネスを通してください。

取付け後の調節

取付け後は、次の要領で調節してください。

- ① P T O 変速レバー・主変速レバーが「N」位置にあることを確認した後、エンジンを始動します。
- ② ポジションコントロールレバーによってロータリーを地面から少し浮くまで揚げます。そして、本機に対してロータリーの左右の傾きがないように、右リフトリンクターンバックルハンドルをまわして調節します。
- ③ 次にロータリーが本機の中心線にくるようにチェックチェーンバックルを調節してください。チェックチェーンの遊びはロアリンクピン位置で左右10mm程度ゆれるようにしてください。調節ができればチェックチェーンのターンバックルにスナップピンを差込みます。

【取扱いの注意】

- チェックチェーンを強く張りすぎるとチェーンを切ることがあります。
- ④ ロータリーを回転しながら上げ下げして、ドライブシャフト部からの異音、振動がないか確認します。
もし異音、振動が発生した場合は、ロアリンクとリフトリンクの組合わせおよびトップリンクの取付位置(P16参照)を確認後、トップリンク長さを音の出ない長さに調整します。
 - ⑤ OK-UFO仕様は「OK-UFO仕様ロータリーの組付後の確認要領」(P24)を行なってください。

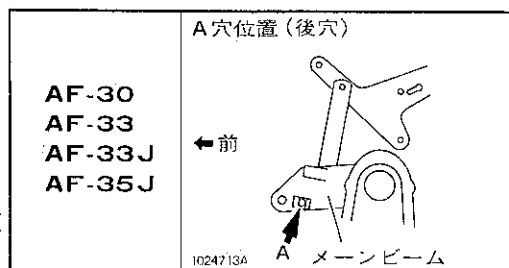
2. AF-30・AF-33

AF-33J・AF-35Jへの取付け
クイックヒッチ仕様(K仕様オプション)は、
48ページを参照してください。

ロアリンクピンの取付け

RSC、RCCロータリーの場合は、装着方式によりメインビームのロアリンクピンの位置が異なりますので、下表を参照して取付けます。

ロアリンクピン穴位置



【取扱いの注意】

- ロータリー出荷時はロアリンクピン穴位置が後穴になっています。クイックヒッチ装着時は、前穴になっていますので注意してください。

リンクヒッチの取付け

＜AF-30・AF-33の場合＞

リンクヒッチは不要です。トップリンクヒンジに直接オートワイヤ取付用のワイヤーブラケットをツバボルト (M8×16) で締付けます。

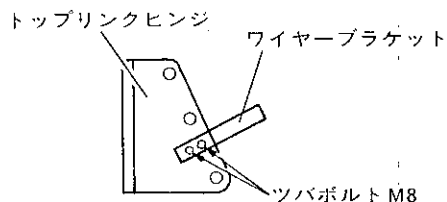
＜AF-33J・AF-35Jの場合＞

リンクヒッチは本機側のトップリンクヒンジに取り付けます。

①リンクヒッチには左右があります。

2-M8タップ穴の開いている方が左側用です。パイプを溶接している穴を左右とも後方にし、パイプ溶接側を内向にして、残った2つの穴をトップリンクヒンジに19φピン2個で取り付け、ロックピンで抜け止めします。

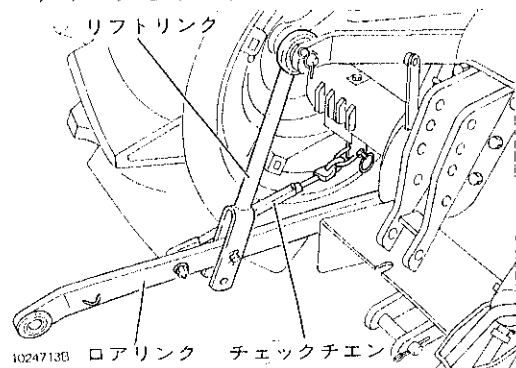
②左側リンクヒッチの2-M8タップ穴に、ワイヤーブラケットをツバボルト (M8×16) で締付けます。



1024712D

リフトリンクとロアリンクの取付け

ロアリンクとリフトリンクを組付けます。



1024713B

リフトリンクとロアリンクの取付穴位置

穴位置	ロアリンク	リフトリンク
本機		
AF-30 AF-33 AF-33J AF-35J		リフトリンク上穴 上穴 ロアリンク前穴

1024713A

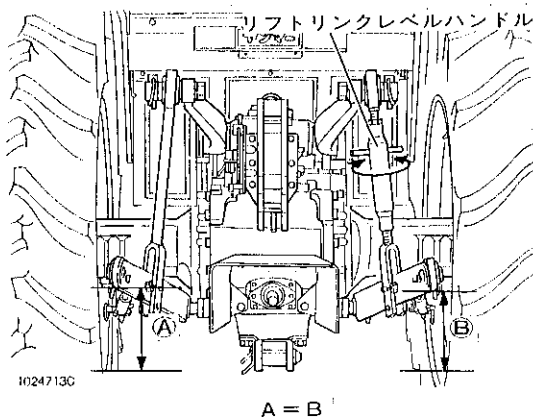
【取扱いの注意】

ロアリンク穴位置とリフトリンク穴位置を正しくセットしてください。

正しくセットされていない場合は、次のような不具合が生じます。

- 油圧レバーによりロータリーやその他の作業機を上げたとき、上がりすぎてトラクター本体に接触したり、破損することがあります。
- ドライブシャフトの異音の発生や抜けることがあります。

右側リフトリンクのレベルハンドルを回して、左右のロアリンクをほぼ同じ高さにします。(OK-UFO仕様は不要です)

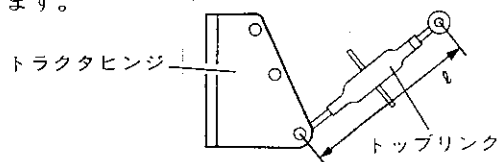


1024713C

A=B

トップリンクの取付け

トップリンクを、トラクタヒンジに取付けます。



1024712D

	トップリンク長さ(ℓ)
AF-30 AF-33	655mm
AF-33J AF-35J	620mm

ロータリーのセット

⚠ 警告

- リフトリンクを片側だけ取り付けた状態で、ロータリーを上げないでください。
- オートワイヤおよび、ドライブシャフトの着脱時は、必ずエンジンを停止してください。

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

- ① ロータリー本体をロアリンクとトップリンクに取付け、ロータリーをセットします。
- ② ドライブシャフトを装着します。

【取扱いの注意】

- ドライブシャフトの等速側をトラクター側にしてください。
- ドライブシャフトは、トラクターにより異なりますので、ドライブシャフト一覧表を参照してください。

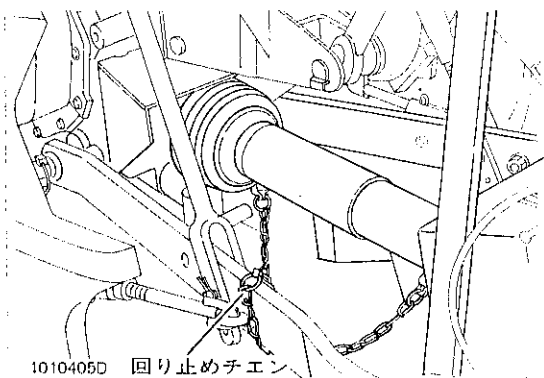
ドライブシャフト一覧表

AF-30 AF-33 AF-33J AF-35J	a = 500 b = 694
1019326B	

※上記寸法は、一番縮めた状態です。

- ③ 安全カバーの回り止めチェーンは、次のように取付けます。

- 右または左のロアリンクに掛け、チェーンとチェーンを継ぎます。



- ④ オートワイヤをセットして調節します。
「オートロータリーのセットと調節のしかた」(P23)を参照してください。

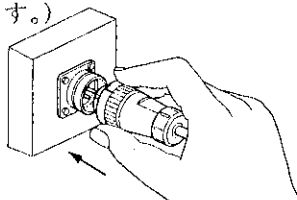
＜OK-UFO仕様の場合＞

- ①キースイッチを「OFF」にします。
- ②コネクタを接続します。

※コネクタの着脱について

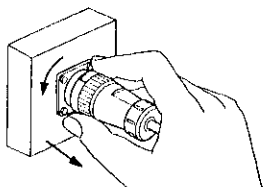
1) 装着

プラグとレセプタクルのガイドを合わせ、まっすぐに押し込む。(5本キー方式のためレセプタクルにプラグをあて、プラグを回転させることによってガイドを合わせることができます。)

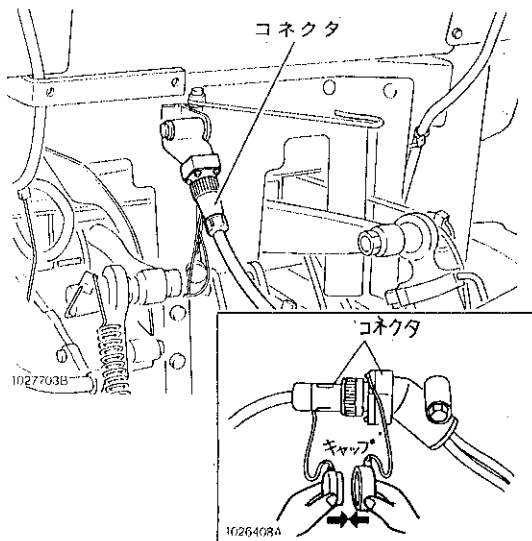


2) 抜去

矢印どおりカップリングナットを左へ45°回転させ、引抜きます。



※両方のコネクタ・キャップ同士は、必ず貼り合わせて下さい。



- ③ワイヤハーネスをクランプします。

※トップリンク取付ビンの先端部にワイヤハーネスを通してください。

取付後の調節は「取付後の調節」(P18)を参照してください。

3. 耕うん爪の取付けかた

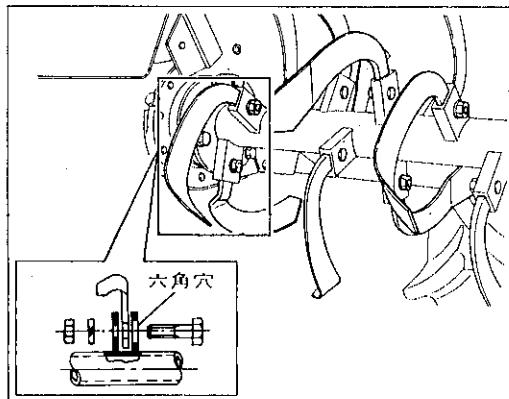
⚠ 警告

- 爪を取り付けるときは平坦で固い場所を選び、トラクターのエンジンを停止して駐車ブレーキをかけ、機体が動かないようにしてください。
- ロータリーの落下防止のため、油圧ストップバルブを右に回して完全に締めてください。なお、安全のために爪軸に木の台などをしてください。

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

取付けかた

平面耕の場合、爪取付方向は爪座の六角穴と逆方向の曲がりがかかるようにして、メガネレンチで確実にボルトを締付けてください。サイドドライブ(RSC)の偏心爪は、座端を赤色着色したホルダーに取付けてください。



爪配列

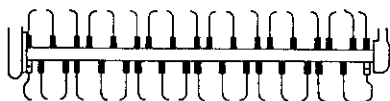
爪の配列は、作業に合わせてつぎの通り使いわけることができます。作業内容に合わせて選択してください。

平面耕(標準)



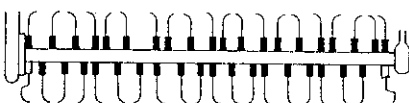
一般水田・畑・耕起作業、代かき作業、畑の細土・均平作業等に使えます。

RSB1404・RSB1504・RSB1604
RSC1604



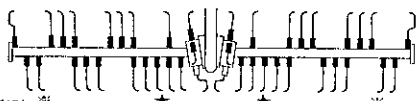
1023701A

RSB1704・RSC1704・RSC1804



1026906B

RCB1504・RCC1704



1024712A ※

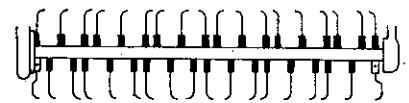
- トラクタのタイヤ跡が凹む場合は、★印の爪を外向きに付替えてください。
- 延長爪軸を取付けた場合は、※印の爪を外向きに付替えてください。延長部の爪は全て内向きに取付けてください。

内盛耕



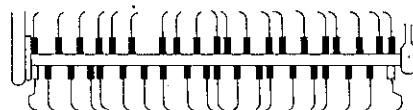
湿田耕起作業、幅広畦立時に使えます。また、溝をまたいでの畦崩し作業もできます。

RSB1404・RSB1504・RSB1604
RSC1604



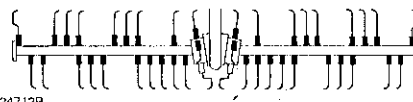
1023701B

RSB1704・RSC1704・RSC1804



1026806C

RCB1504・RCC1704



1024712B

※延長爪軸を取付けた場合は、延長部の爪は全て内向きに取付けてください。

外盛耕



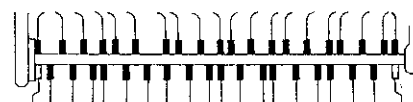
畦くずし、畦立作業に使えます。

RSB1404・RSB1504・RSB1604
RSC1604



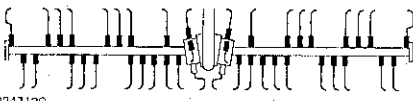
1023701C

RSB1704・RSC1704・RSC1804



1026806D

RCB1504・RCC1704



1024712G

延長爪軸を取付けた場合は、延長部の爪は全て内向きに取付けてください。

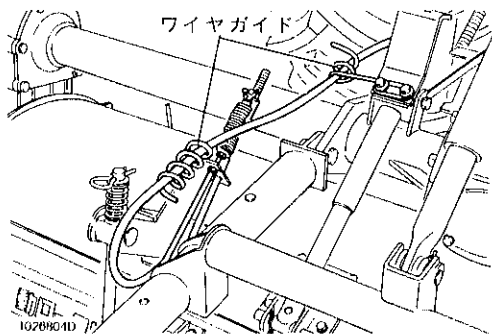
4. オートロータリーのセットと調節のしかた

⚠ 警告

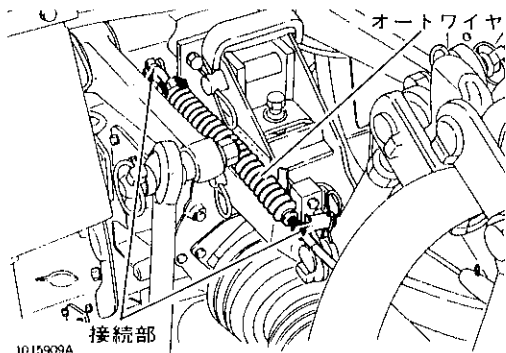
- オートワイヤの接続や取り外しまたは調整をするときは、必ずエンジンを止めてください。守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

セットのしかた

- ① オートワイヤをワイヤガイドに通します。

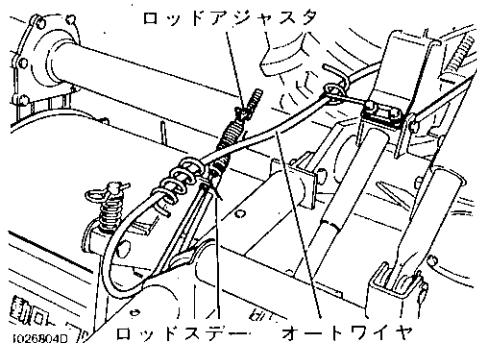


- ② オートワイヤ先端をトラクターのフィードバックリンクに接続し、オートワイヤのワイヤ受け部をトップリンクヒッチに固定します。



- ③ オートワイヤ後部をロッドステーに取付けます。

オートワイヤ後端をロッドアジャスタに接続します。(接続するときは、次項の調節と同時に行ってください。)



【取扱いの注意】

- 接続するときは、次項の調節と同時に行ってください。
- 3P装着時とクイックヒッチ装着時では、接続部の形が多少異なりますので留意してください。

調節のしかた

⚠ 警告

- エンジンをかけての調整確認は危険ですので、トラクターとロータリーの周辺には人を近づけないでください。
- リヤカバーを動かすとロータリーが上下しますので、ロータリーの下には足を踏み込んではいけないでください。

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

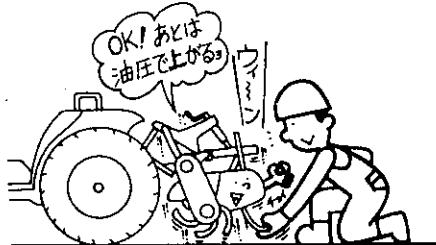
- ① オートロータリーレバーを「最下げ」位置にしてエンジンを始動し、リヤカバーが接地しないように、ロータリーを地面より少し浮かしてください。

- ② エンジンを停止し、オートワイヤ後方とロッドアジャスタを接続したときオートワイヤのインナー部の張りを、たるまず、引かずの感じにフィードバックロッドのアジャストナットで調節し、固定してください。



1026204C

- ③エンジンを始動し、オートロータリーレバーを「上げ」位置方向にしても、ロータリーが上がらず、手でリヤカバーを少し持ち上げると、油圧が働いて自動的にロータリーが上がり、手を離すとロータリーが降下すれば、調整は完了です。



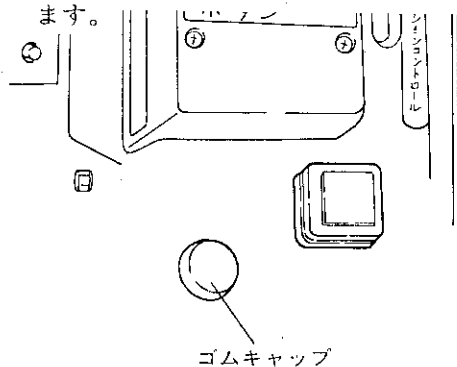
【取扱いの注意】

- もしオートロータリーレバーを「上げ」位置方向にしたときに、ロータリーが上がれば調整不良ですので、ロータリーを降してエンジンを止め、②の項目のオートワイヤの張りを少したるませて、再度④の項の確認を行ってください。

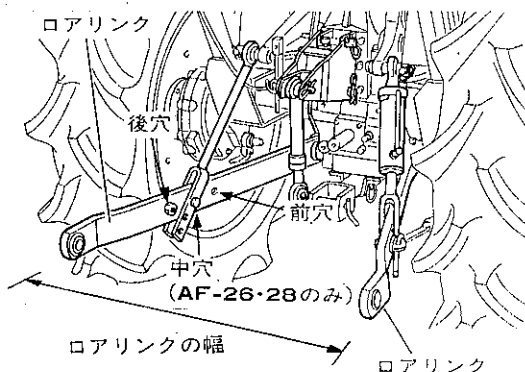
5. OK-UFO仕様ロータリーの組付後の確認要領

点検前の準備

- ①トラクターを平坦な水平面に静止させ、駐車ブレーキをかけます。
- ②主変速・副変速・PTO変速を「N(中立)」位置にします。
- ③ワイヤハーネスのカブラが確実に装着されていることを確認します。
- ④3P切換スイッチ（ゴムキャップ内）を3点リンクの取付状態に合わせて切換えます。







※操作はゴムキャップを外し、マイナスドライバーを使って行なってください。
操作後は、元のようにゴムキャップをつけてください。







1026803C





AF-22・AF-24

3 P 切換 スイッチ	ローア リンク幅	ローアリンク 穴 位 置	作業機例
	広 (718mm)	前	一般 作業機
	広 (611mm)	後	クイック ヒッチ付 ロータリ
	狭 (500mm)	前	クイック ヒッチ無 ロータリ
	狭 (500mm)	後	クイック ヒッチ無 ロータリ

AF-26・AF-28

3 P 切換 スイッチ	ローア リンク幅	ローアリンク 穴 位 置	作業機例
	広 (718mm)	前	一般 作業機
	広 (611mm)	中・後	クイック ヒッチ付 ロータリ
	狭 (500mm)	前	クイック ヒッチ無 ロータリ
	狭 (500mm)	中・後	クイック ヒッチ無 ロータリ

AF-30・AF-33

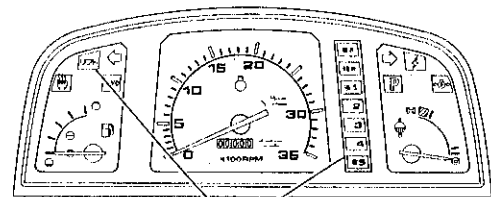
3 P 切換 スイッチ	ローア リンク幅	ローアリンク 穴 位 置	一般 作業機
	広 (718mm)	前	クイックヒッチ 付ロータリ 一般作業機
	広 (745mm)	後	クイック ヒッチ付 ロータリ
	狭 (600mm)	前	クイック ヒッチ無 ロータリ
	狭 (600mm)	後	クイック ヒッチ無 ロータリ

点検要領

- ①キースイッチ「ON」でパネルの表示ランプが点灯し、2秒後に消灯するか確認します。

※UFO手動時は全て消灯し、UFO自動時は設定機能のみ点灯します。

※表示ランプ点滅時は、カブラの外れかセンサの異常などです。



表示ランプ

- ②エンジンを始動し、ロータリーを地面から約50mm(爪先端)浮かします。

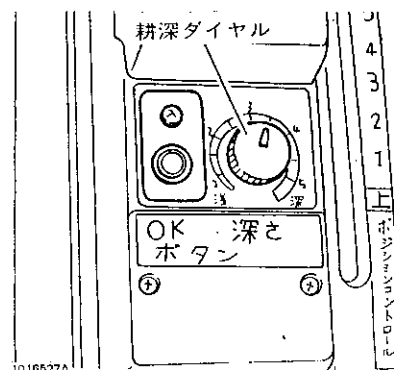
※エンジン回転を1500rpmに設定します。

- ③OKボタンを押して、OKランプ(緑)を点灯させます。

- ④作業機(ロータリー)が地面に対して水平であることを確認します。

- ⑤耕深ダイヤルを回して、同動カバーが作動することを確認します。

- ⑥耕深ダイヤル「3」位置でリヤカバー先端を上下させると、ロータリーが昇降することを確認します。

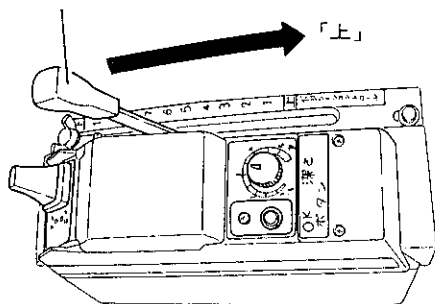


1010527A

取付けかた——正しい手順で行なってください。

- ⑦ポジションレバーを「上」位置に操作して、作業機(ロータリー)を最上げにすると、作業機がトラクタと平行になることを確認します。

ポジションレバー



確認の結果、異常が見つかりました場合は、お買上げいただきました販売店までご連絡ください。

作業前の点検

安全で快適な作業を行うには、ロータリーを使用する前に必ず作業点検を行い、異常箇所がある場合は直ちに整備してから作業を始めてください。また、作業終了時も点検を行って異常がないかチェックしてください。

⚠ 警告

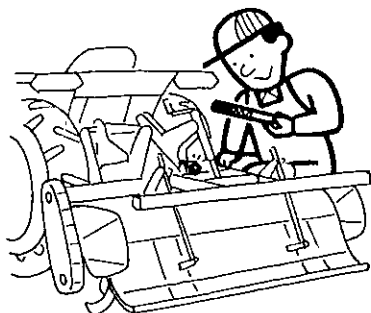
- 点検・整備をするときは、交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクターには車止めをして点検・整備をしてください。守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

⚠ 注意

- 取り外した回転部のカバー類は、必ず取り付けてください。衣服が巻込まれたりして傷害事故をひきおこすおそれがあります。
- 点検・整備をするときは、エンジンを確実に停止させ、各レバーを「中立」位置にして、回転部が止まってから行ってください。守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

点検箇所

- ドライブシャフトのロックピンのPTO軸への挿入状態
- 各部のスナップピンの差し込み状態
- 爪取付ボルトのゆるみ…40ページ参照
- ロータリギヤボックスのオイル量…38ページ参照
- ロータケースのオイル量…38ページ参照



1027918

【取扱いの注意】

- オイル量の点検は、平坦な場所でロータリーを接地させて行ってください。

作業に適した調節と使いかた

1. 作業に適した耕うん変速

作業内容と圃場条件により、PTO変速を下表より選んでください。変速は、PTO変速レバーでおこなってください。

形 式	耕うん (荒)	耕うん (中)	耕うん(細) 碎土・代かき
AF-22 AF-24 AF-26 AF-28 AF-30 AF-33	1 速	2 速	3 速 または 4 速

本機の取扱説明書をご覧ください。

2. ロータリーカバー回動装置の 使いかた

警告

- 調節をするときは、エンジンを確実に停止させ、各レバーを「中立」位置にして、回転部が止まってから行ってください。守らないと、傷害事故をおこすおそれがあります。

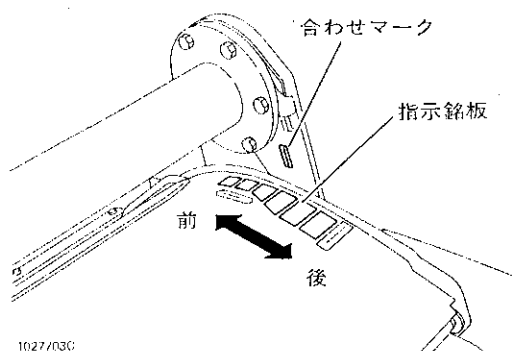
このロータリーは、ロータリーカバーが回動できる構造となっています。ロータリーカバーを回動させることにより深耕、標準耕、浅耕、代かきなどの作業内容にあった理想的な耕うん姿勢が得られます。次の要領でロータリーカバーを回動してください。

OK-UFO仕様は、トラクター本機取扱説明書の「OK-UFOについて」の項を参照してください。



- ①作業内容により回動ハンドルを廻し、ロータリーカバー上面に貼ってある指示銘板を、サイドブレードの合わせマークに合わせてください。

一般耕うん時は、合わせマークに指示銘板の「標準位置」を合わせます。深く耕うんする場合は、カバーを「前」方向に回動します。浅く耕うんする場合は、カバーを「後」方向に回動します。



②次のような場合条件、地表条件のときは、
回動位置をズラして使用してください。

- 湿田でタイヤ沈下が多い場合は回動位置を、少し「後」方向にずらして使用してください。
- 地表面にワラ、草の多い場合は、「前」方向にずらして使用すれば、仕上りはきれいになります。

※作業内容とロータリーカバーの回動位置を大きくズラしますと、オートロータリーの作動範囲がずれてきますので注意してください。(オートが働かなくなる場合があります。)

【取扱いの注意】

- 回動カバーを「後」方向に回動して使用する場合は、必ず油圧スローリターンバルブでロータリー下げ速度を遅く(1.5~1.8秒)調整して使用してください。さもないとリヤカバーを壊します。
- 作業内容とロータリーカバーの回動位置を大きくズラすと、オートロータリーの作動範囲がずれてきますので、再度オートロータリーの深さ調整を行ってください。(オートが働かなくなる場合があります。)

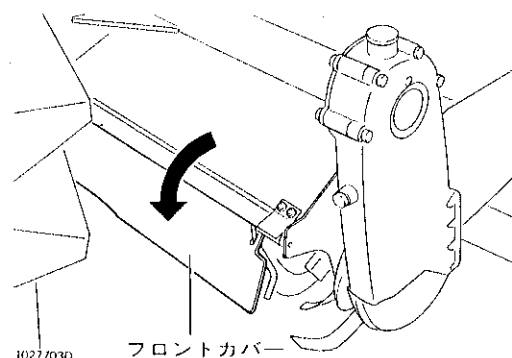
(OK-UFOなし仕様)

3. フロントカバーの使いかた

(サイドドライブロータリのみ)

代かき作業の場合、ロータリーカバー全体が後方に回動しますので、オペレータへの泥水飛散防止のためフロントカバーがあります。フロントカバーは代かき作業時と逆転PTO作業に使用します。

①フロントカバーを前方に倒します。



②代かき作業が终れば、フロントカバーをもとに戻してください。

【取扱いの注意】

- フロントカバーは、代かき作業と逆転PTO作業以外には絶対使用しないでください。(使用すると壊れる場合があります。)

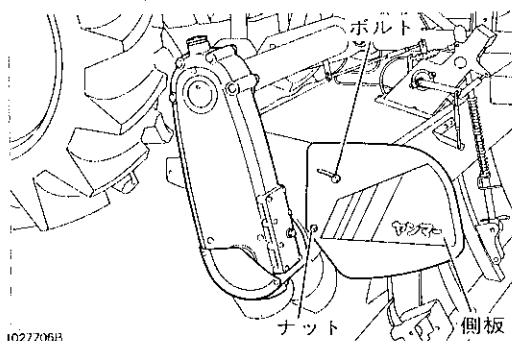
4. 側板の使いかた

(サイドドライブロータリの場合)

⚠ 注意

- エンジンを実際に停止させ、回転部が止まってから行ってください。
守らないと傷害事故を起こす恐れがあります。

側板の上側止め穴が長穴となっていて、上下に移動できます。作業に合わせて使用してください。



① 側板を下げて使用する場合

- 水田荒起しで隣接部に溝を残したい場合。
- 内盛耕で土を外にこぼしたくない場合。

② 側板を上げて使用する場合

- 畑作または水田裏作で、隣接部に溝を残したくない場合。
- 外盛耕で土を外にとばしたい場合。
- 畦立作業時。
- 代かき作業時。

- ③ より土をとばしたい場合は、側板を取外してください。その場合、ボルト・ナットは必ずもとに戻して締付けておいてください。

〈センタードライブロータリーの場合〉

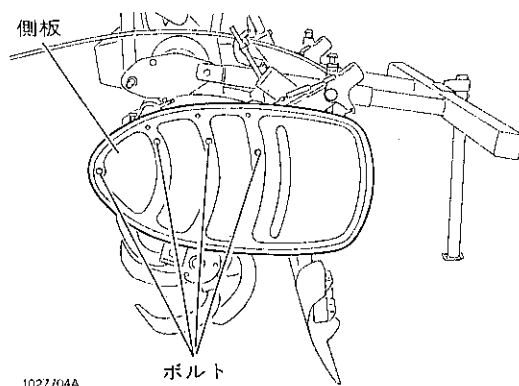
上下に調整できます。作業に合わせて使用してください。

① 側板を下げて使用する場合

- 水田荒起しで隣接部に溝を残したい場合。
- 浅耕の場合。
- 内盛耕で土を外にこぼしたくない場合。

② 側板を上げて使用する場合

- 隣接部に溝を残したくない場合
- 外盛耕で土を外にとばしたい場合。

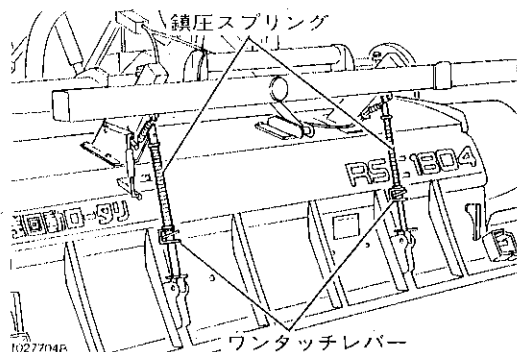


5. 鎮圧スプリングの調節のしかた

- 調整時はエンジンを確実に停止させ、回転部が止まってから行ってください。守らないと傷害事故を起こす恐れがあります。

凸凹の激しいほ場、畦くずしなどで表面の仕上りを平にしたい場合、また、オートロータリで地表面に波が発生した場合に、鎮圧スプリングを働かせてください。調節は、次の要領で行なってください。

- ①耕うんを行ない、その状態でトラクタを停止し、エンジンを停止します。
- ②鎮圧スプリングを2 cm程度たわむ位置まで、ワンタッチレバーを指でつまんで、移動し、ワンタッチレバーを離すとその位置に固定されます。



6. サイドリヤカバーの使いかた

▲注意

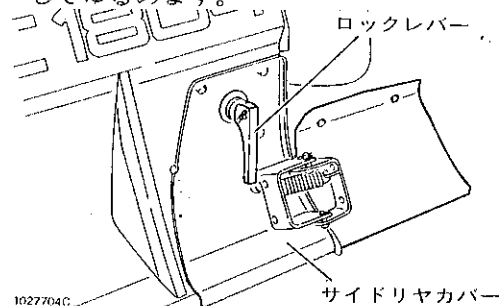
- ロータリーに作業機を装着するときは、作業機の取扱説明書をよく読んで適切な処置を行ってください。守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

両サイドのサイドリヤカバーは、ワンタッチで脱着できます。片培土作業時や尾輪(オプション)作業時に取外して使用してください。

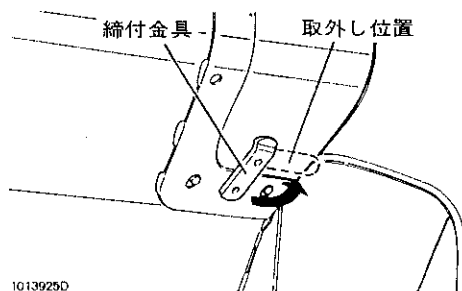
取扱いは、次の要領で行なってください。

取外しかた

- ①ロックレバーを起し、反時計方向に回わしてゆるめます。



- ②サイドリヤカバーの裏側の締付金具を横に倒します。



- ③サイドリヤカバーを手前に引いて取外してください。

取付けかた

- ①取外しの逆の手順で行なってください。
- ②ロックレバーの締付けは、ロックレバーを時計方向に回して、ゴムの遊びがなくなった状態にし、さらに約半回転させて、ヒンジに当らない位置で完全に倒してください。

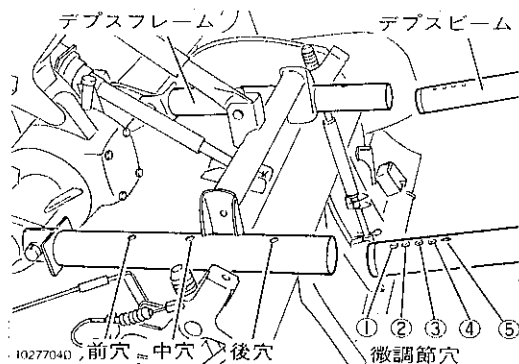
7. デプスビーム前後調節のしかた

⚠ 注意

- 調整時はエンジンを確実に停止させ、回転部が止まってから行ってください。
守らないと傷害事故を起こす恐れがあります。

デプスビームを前後3段階調節できます。
畦立整形作業時はさらに、微調節が5段階できます。

尾輪(オプション)使用の作業や畦立作業に合わせて、デプスビームの位置を下表にしたがって調整してください。



デプスフレームとデプスビームの組合せ

		使用ピン穴	
		デプスフレーム	デプスビーム
耕うん	尾輪なし	中穴	①
	尾輪使用時	後穴	①
代かき	尾輪なし	中穴	①
	尾輪使用時	後穴	①
畦立	溝上げ	前穴	①
	整形	標準	④
		微調節	中穴 ②、③、④、⑤

8. リヤカバーロック・逆転PTOの 使いかた

⚠ 注意

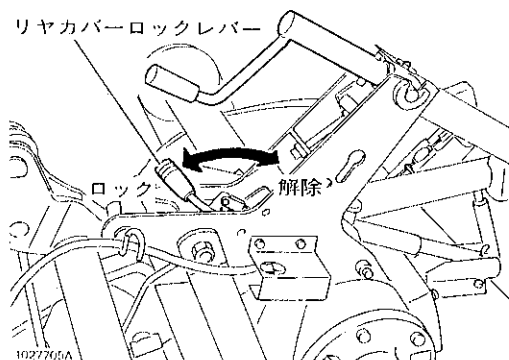
- 逆転で土寄せを行う場合は、エンジン回転を下げてください。
- 逆転での耕うんは、未耕地や石の多いほ場ではぜったいに行わないでください。爪が破損します。

守らないと飛散物により傷害事故をおこすおそれがあります。

ほ場の四隅に寄せられた土を移動させて、仕上りを平にしたい場合に使用します。

- ① リヤカバーロックレバーを手前に引き、リヤカバーをロックさせます。

リヤカバーロックレバー



- ② バックさせながらリヤカバー先端を畦ぎわにくる位置でロータリーを下げ、ポジションレバーで土寄せしたい高さにロータリーを合せます。

- ③ 回動ハンドルを浅い方向に回し、爪先端とリヤカバー先端が同じ高さになる位置にします。OK-UFOの場合は、「自動」→「手動」に切り替え、回動を浅い方向に移動させ、爪先端とリヤカバー先端の高さを合せます。

- ④ 前進すれば土寄せができます。爪軸回転方向は正転でも逆転でもできます。ほ場条件により選んでください。

9. 畦立器の取付けと作業の しかた

⚠ 注意

- ロータリーに作業機を装着するときは、作業機の取扱説明書をよく読んで適切な処置を行ってください。守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

畦立器の取付けかた

- ① フロントカバーを上げてください。

- ② 回動ハンドルを回して、指示銘板の「標準」位置を合わせマークに合わせます。

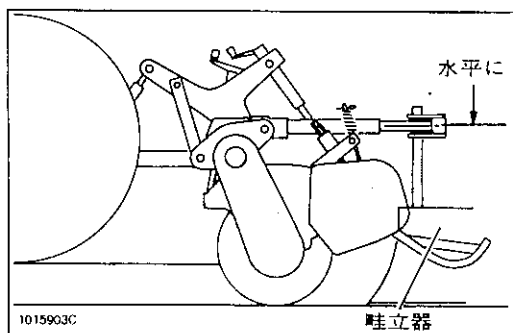


- ③ 畦立器取付金具は、デブスビームに取付けます。

デブスビームの前後位置は「デブスビームの前後調節のしかた」(P32)を参照してください。

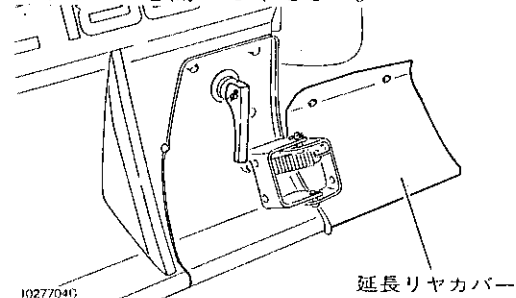
畦立作業のしかた

- ①畦立器をセットする場合、希望する耕深で、デブスビームを水平にして、畦立器を取付けてください。



- ②畦立器とリヤカバーの調節は、リヤカバー中央部長穴の中心に畦立軸がくるように、回動ハンドルを回して行なってください。

- ③畦立時の段差を少なくするため、延長リヤカバーを開いてください。



- ④畦立作業開始時のすき込み長さを短くする時は、畦畔処理装置(別売り)を使用してください。

- ③耕深は畦立器により決まりますので、オートロータリーおよび、ポジションコントロールは「解除」してください。

- ④作業条件により、耕うん爪軸回転速度および車速を選んでください。

【注意】

OK-UFO仕様でカバー回動する場合は、畦立器に当たっていないことを確認してから行なってください。

取外しかた

警告

●作業機の着脱は、平坦な場所で行ってください。とくに夜間の作業機の着脱は明るい照明を用いるなど、安全に留意してください。

●作業機を調整する場合には、トラクターの駐車ブレーキをかけ、また、エンジンを停止し、さらにPTO変速レバーが「中立」位置にあることを確認したうえで行ってください。

●作業機の下へもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

●オートワイヤおよび、ドライブシャフトの着脱時は、かならずエンジンを停止してください。

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

注意

●作業機の着脱または、単体保管する場合は、スタンドをぜったいに外さないでください。

●PTO軸を使用しないときは、PTOカバーを取り付けてください。

●OK-UFO仕様の場合は、OKボタンを押して「深さ」「傾き」のランプを消灯状態にしてください。

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

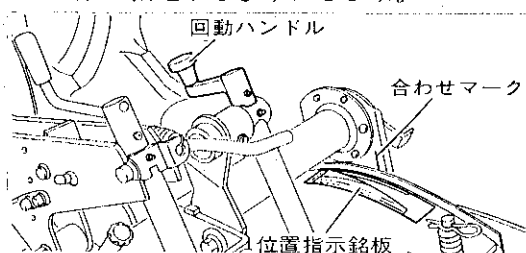
図はサイドロータリーを使用しています。

取外しかた

①トラクターを平坦で、固い場所に停止し、回動ハンドルを回わし、ロータリーカバーに貼ってある位置指示銘板の「標準」位置を合わせマークに合わせます。

トラクター本機取扱説明書「OK-UFOについて」の項を参照してください。

OK-UFO仕様の場合は、カバー回動スイッチを前方向に操作して、カバーより先に爪が接地するようにします。



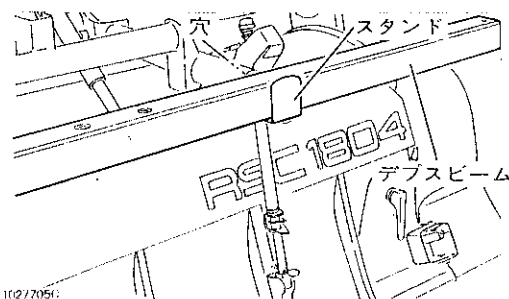
②ロータリーを下げ、爪先端を接地させエンジンを停止してください。UFO仕様の場合は左右の傾きを調整し、爪全体が接地していることを確認します。

③リヤカバーロックレバーを引いて、リヤカバーが上がらないように固定します。(左右共行なってください。)

④回動ハンドルを廻し、リヤカバー先端を接地させます。

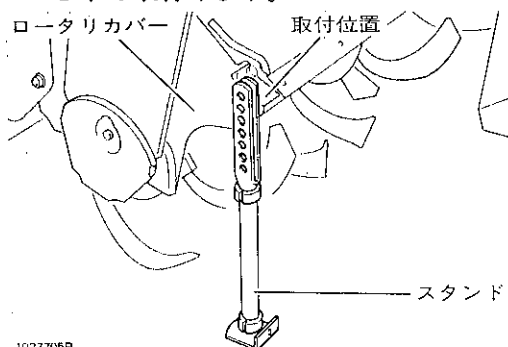
OK-UFO仕様は、カバー回動スイッチを操作しておこなってください。

⑤右側デブスビームから、スタンドを引き出します。



10272050

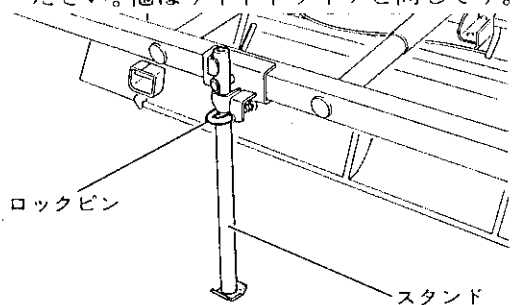
- ⑥ スタンドをロータリーカバー右側前の取付け位置に、先端が地面に近い穴を選びピン1本で取付けます。



1027705B

〈センターロータリーの場合〉

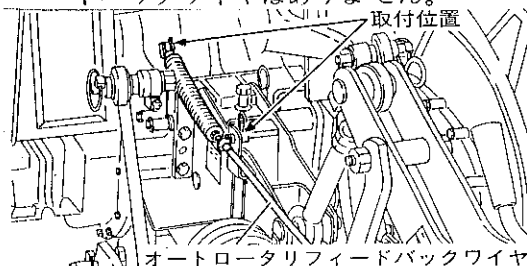
サイドドライブロータリーと異なる所は、⑥のスタンドの立てかたのみです。スタンドはデブスビームに常設のスタンドをロックピンを引き、立ててロックしてください。他はサイドドライブと同じです。



1027705D

- ⑦ オートロータリーフィードバックワイヤの本機側取付け位置2ヶ所のスナップピンを外し、オートロータリーフィードバックワイヤを取外します。スナップピンは元の位置に戻しておいてください。

OK-UFO仕様には、オートロータリーフィードバックワイヤはありません。

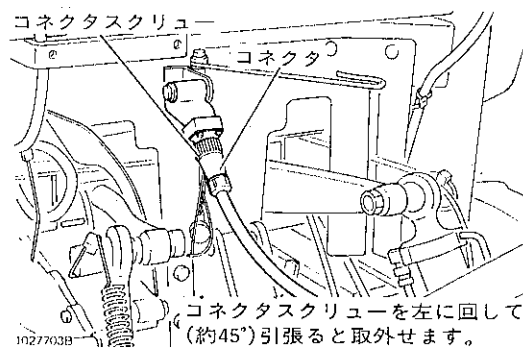


- ⑧ ドライブシャフトの廻り止めチェーンを外し、ドライブシャフトを外します。ロックピンを押しながら、ロータリー側を先に外してから本機側を外してください。

- ⑨ 回動ハンドルを廻し、トップリンクに荷重がかからないようにして、ピンを抜いてトップリンクを外します。

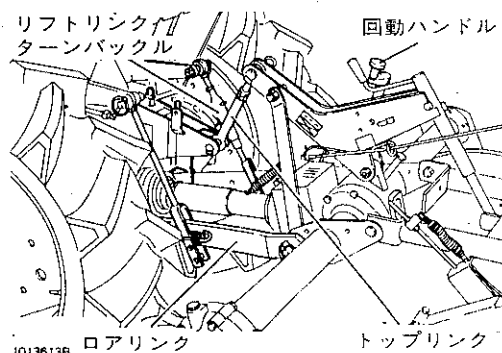
OK-UFO仕様の場合は、カバー回動スイッチを操作しておこなってください。

- ⑩ OK-UFO仕様の場合は、キースwitchを「OFF」にして、コネクタを取外します。(P21参照)



1027703B

- ⑪ ロアリンク右側のピンを抜いて取り外します。もし、外れない場合は、リフトリンクターンバックルを廻し、上下の調節をして外してください。



1013613B

- ⑫ ロアリンク左側を外してください。

手入れと点検・調整 — 定期的に正しい点検をしてください。

1. お使いになる前の点検

⚠ 警告

- 点検・整備をするときは、交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクターには車止めをして点検・整備をしてください。守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

⚠ 注意

- 取り外した回転部のカバー類は、必ず取り付けてください。
- 点検・整備をするときは、エンジンを確実に停止させ、各レバーを「中立」位置にして、回転部が止まってから行ってください。

守らないと衣服が巻込まれたりして傷害事故をひきおこすおそれがあります。

2. 定期点検一覧表

給油箇所	種類	容 量				給油方法	始業前	200時間毎
		RSB ロータリ	RSC ロータリ	RCB・RCC ロータリ				
ロータケース	ギヤオイル EP#90	0.72ℓ	1.0ℓ	1.5ℓ		給油口より	点検	交換
ロータリギヤボックス	ギヤオイル EP#90	0.6ℓ	0.8ℓ	—		給油口より	点検	交換
耕深調節ハンドル	グリス マルチバーハスタイフ	少々				グリスニップル	グリスアップ	—
ドライブシャフト	グリス マルチバーハスタイフ	少々				グリスニップル	グリスアップ	—
回動ハンドル	グリス マルチバーハスタイフ	少々				グリスニップル	グリスアップ	—

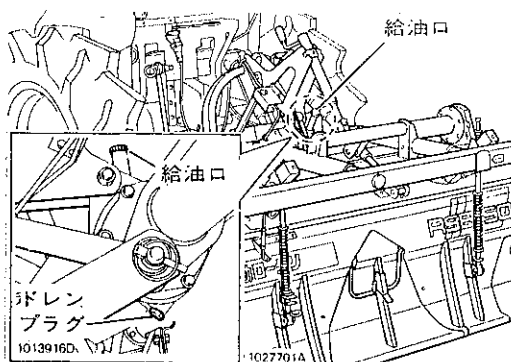
3. ロータリギヤボックスオイルの 点検・交換のしかた

オイル量の点検は、平坦な場所でロータリーを接地させて行なってください。

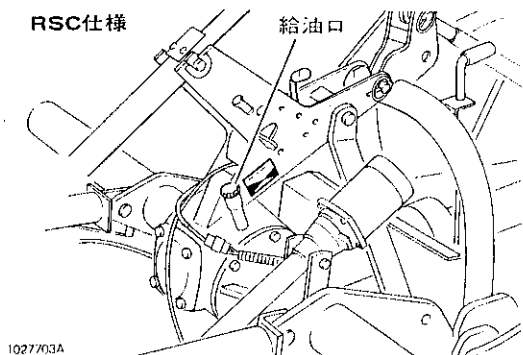
サイドロータリー

オイル量は、検油栓を外してオイルの有無を確認してください。

オイルを交換するときは、ドレンプラグから排油して、給油は上部給油口より給油してください。オイルはヤンマーギヤオイル EP #90 を使用してください。



RSC仕様



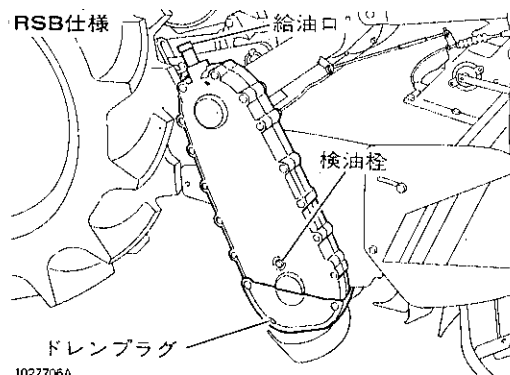
4. ロータケースオイルの 点検・交換のしかた

サイドロータリー

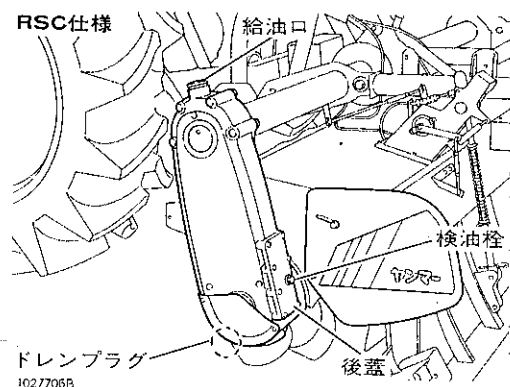
オイル量は、検油栓を外してオイルの有無を確認してください。

オイルを交換するときは、ドレンプラグまたは、後蓋から排油して、給油は上部給油口より給油してください。

オイルはヤンマーギヤオイル EP #90 を使用してください。



RSC仕様

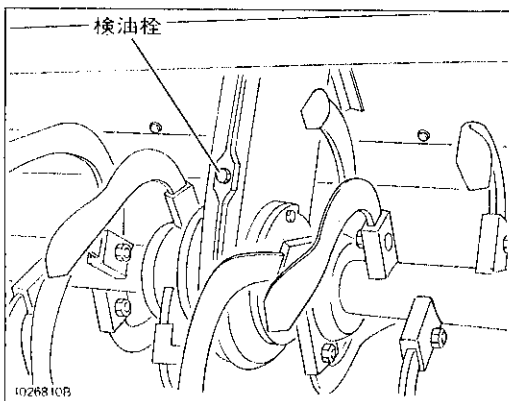
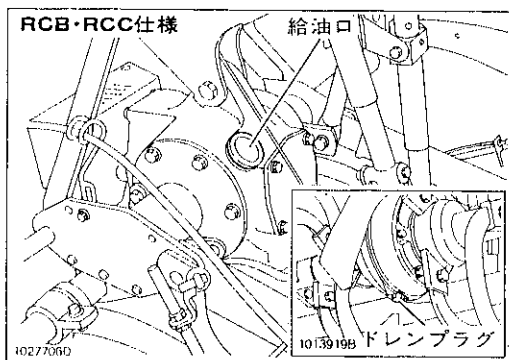


センターロータリー

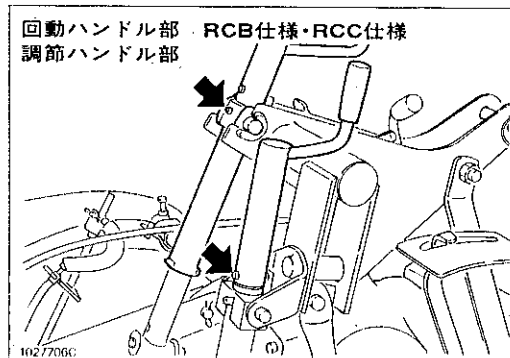
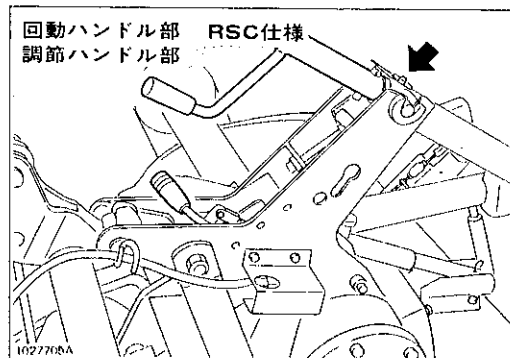
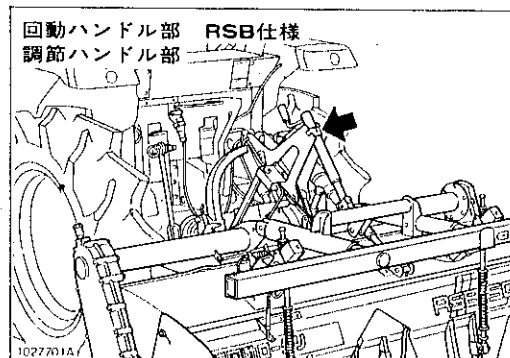
オイル量は、検油栓を外してオイルの有無を確認してください。

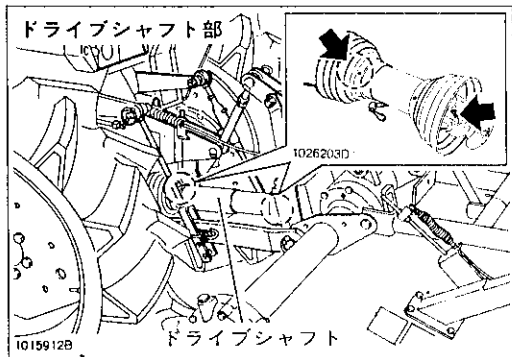
オイル交換するときは、ドレンプラグから排油して、給油は上部給油口より給油してください。

オイルはヤンマーギヤオイルEP※90を使用してください。



5. グリスアップ





【注意】

代かき作業のときは、作業後必ずグリスアップを行ない、汚れたグリスを押出してください。

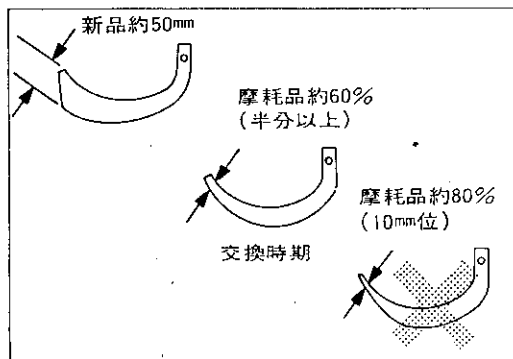
6. 爪の交換時期

摩耗量が約半分を越えたら交換時期です。曲ったり、折れたりしてからでは遅すぎます。効率の良い耕うん作業をしていただくために、耕うん爪は早めにお取り替えください。

爪の取付かたは、P21を参照してください。

【注意】

ワンタッチ型ロータリーには専用の純正ワンタッチ爪以外は使用しないでください。他の爪を使用しますと爪ホルダーが破損します。



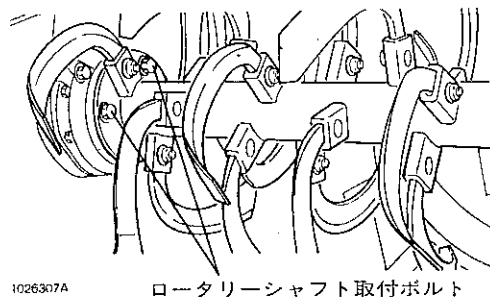
7. 各部のボルトの締付け

⚠ 警告

- 平坦で固い場所を選び、トラクターのエンジンを停止して駐車ブレーキをかけ機体が動かないようにしてください。
- ロータリー落下防止のため、油圧ストップバルブを右に回して完全に締めてください。なお安全のために爪軸に木の台などをしてください。

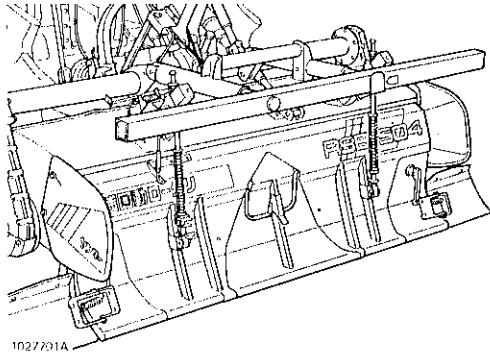
守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

ロータリー各部ボルト・ナットなどを点検し、ゆるんでいるところは締付けてください。



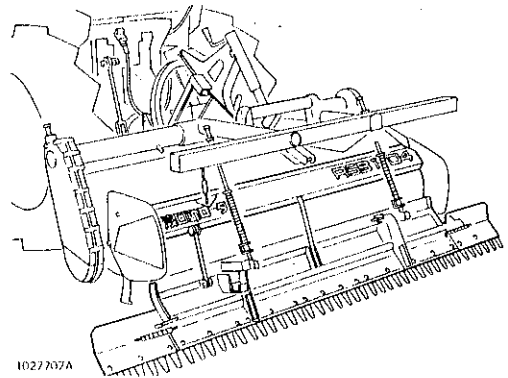
リヤカバーバリエーション・オプション

1. 三角切欠き付 (E仕様)



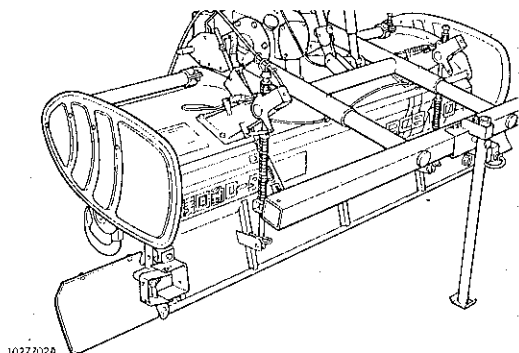
- ①中央のロックレバーを起します。
- ②フックの右または左(片側)を中央方向に押し、フックを外します。
- ③後方に移動すれば取り除けます。

2. フローティングリヤカバー (C仕様)



- ①標準仕様ロータリーと同じ要領で使用できます。
- ②隣接部の段差がなくなり表面の仕上りは非常によくなります。
- ③均平板は、表面の仕上りが良くないときに使用してください。また、代かき時にも使用すると仕上りは良くなります。
- ④通常は均平板なしでも十分仕上りはきれいにできます。

3. リヤカバー短 (B仕様)



- ①セミ深耕を行う場合に使用します。
- ②特に畑作地帯に適しています。
- ③短いリヤカバー使用時は代かき作業がロータリーのみではできません。(オートのセンサーとして使用できない。)代かきレベラと尾輪が必要となります。

4. クイックヒッチ (K仕様オプション)

日農工規格

特殊4PオートヒッチAⅡ適用

型 式	QUICK-AF-22	QUICK-AF-26
適用トラクタ 型式	AF-22、AF-24 AF-22ML AF-26ML AF-30ML	AF-26、AF-28 AF-22MH AF-26MH AF-28J

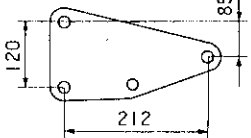
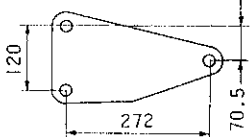
- ロータリーの着脱が、ドライブシャフトの接続も含めてワンタッチで行えます。
- 日農工規格、特殊4PオートヒッチA-Ⅱ形を採用しており、幅広い作業機の着脱がワンタッチで行えます。

⚠ 警告

- 作業機の着脱は、平坦な場所で行ってください。とくに夜間の作業機の着脱は明るい照明を用いるなど、安全に留意して行ってください。
- トラクターを移動して作業機を着脱する場合には、トラクター周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

クイックヒッチの準備

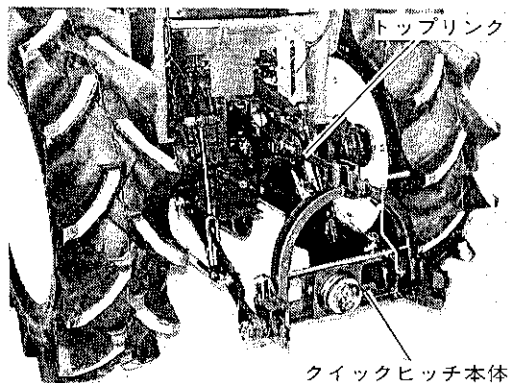
- ①クイックヒッチ用リンクヒッチを取付けます。(取り付け方は、P14ページ参照)
リンクヒッチは、トラクターにより異なります。リンクヒッチ一覧表を参照して確認して下さい。

AF-22 AF-24 AF-22ML AF-26ML AF-30ML	
AF-26 AF-28 AF-22MH AF-26MH AF-28J	

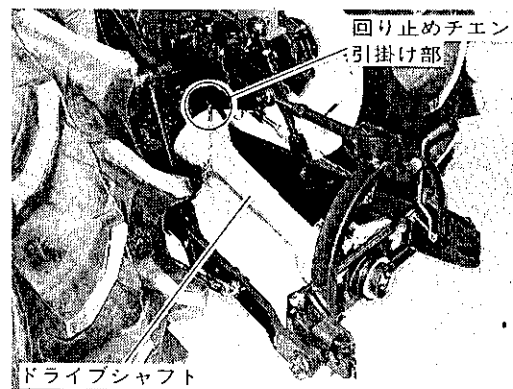
- ②ロアリンクとリフトリンクを組付けます。
(15ページ参照)
- ③トップリンクをリンクヒッチに取付けます。トップリンク長さは下表を基準にしてください。

	トップリンク長さ(ℓ)
AF-22 AF-24 AF-22ML AF-26ML AF-30ML	260mm
AF-26 AF-28 AF-22MH AF-26MH AF-28J	265mm

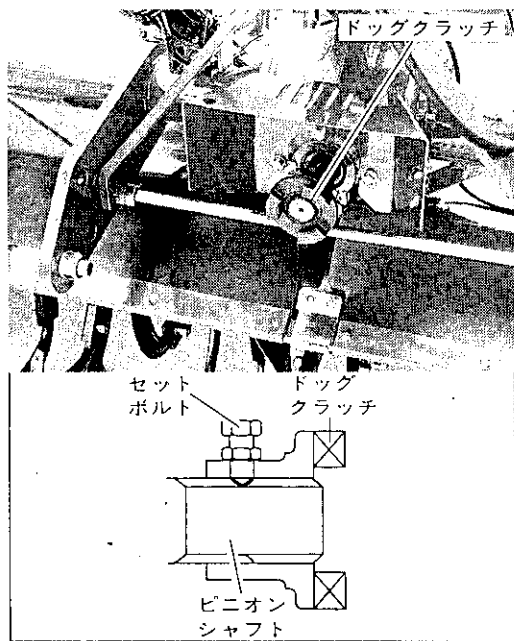
- ④クイックヒッチを本機3点リンクに取り付けます。



- ⑤ロアリンク(左右)のチェックチェーンの遊びは、ロアリンクピン位置で左右10mm程度ゆるるように調節します。
- ⑥ドライブシャフトを装着します。
※ドライブシャフトのロックピンが、PTO軸および、クイックヒッチスプライン軸の溝に入っていることを確認してください。
- ⑦ドライブシャフトの安全カバーの回り止めチェーンは、PTO側はリンクヒッチの穴に掛けます。クイックヒッチ側は、クイックヒッチ本体のフレームに掛けます。

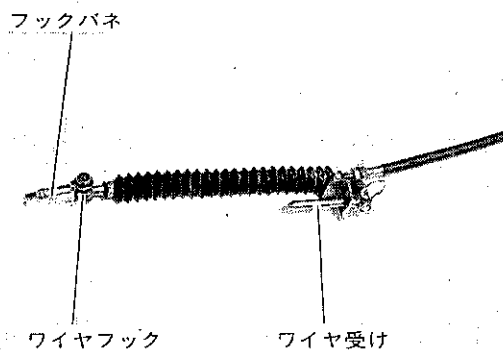


- ⑧ロータリーのピニオンシャフトヘドッグクラッチを取付け、セットボルトで固定します。



【取扱いの注意】

- ピニオンシャフトの溝に合せて、セットボルトを確実に締めてください。
- ⑨オートワイヤを図のようにセットします。



ロータリーの取り付けかた

⚠ 注意

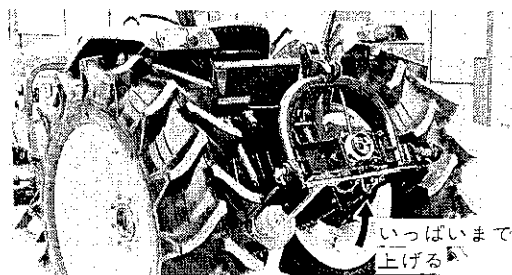
- スタンドは転倒防止のため、ぜったいに外さないでください。
- 守らないと傷害事故を起こすおそれがあります。

【取扱いの注意】

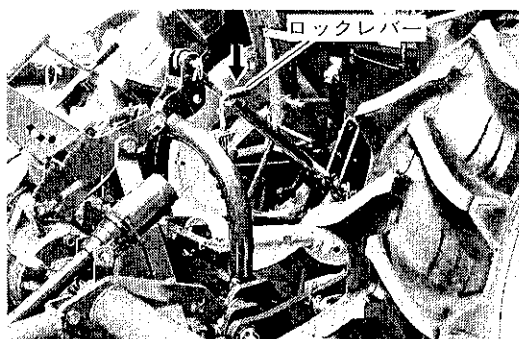
- スタンドを接地させた状態で、ロータリーを動かさないでください。(スタンドが破損する恐れがあります)
- ①リヤカバーロックレバーを「ロック」位置にし、リヤカバーが上がらないように固定します。
 - ②回動ハンドルを回して、指示銘板の「着脱」位置を合わせマークに合わせます。



- ③エンジンを始動し、ポジションコントロールレバーを上げ側へ操作して、クイックヒッチ本体をいっぱいまで上げます。

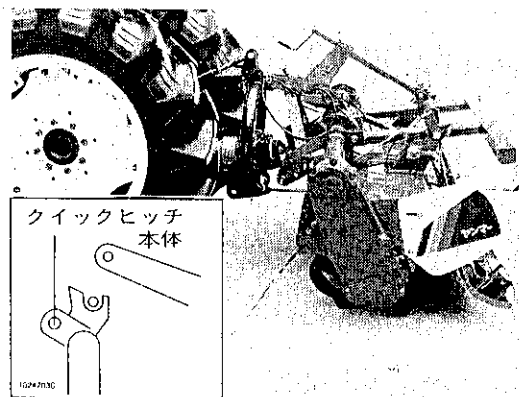


- ④ ロックレバーを押し込みます。



- ⑤ ポジションコントロールレバーを下げ側へ操作して、クイックヒッチ本体を下げます。

- ⑥ トラクタをゆっくりバックさせ、写真の位置にもってきます。



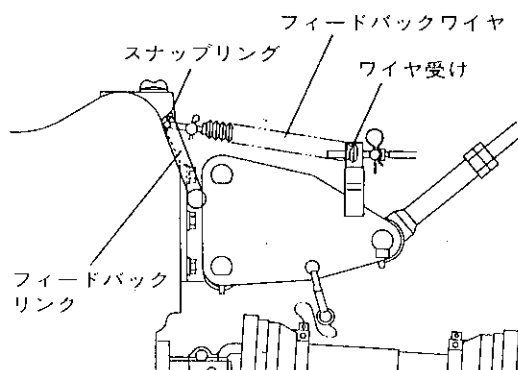
- ⑦ ポジションコントロールレバーをゆっくり上げ側にしてロータリーを拾い上げると、自動的にロアリンクピンはロックされます。

- ⑧ PTO 変速レバーを「1 速」位置にして、PTO 軸をゆっくり回し、ロータリーの爪が回転することを確認してください。

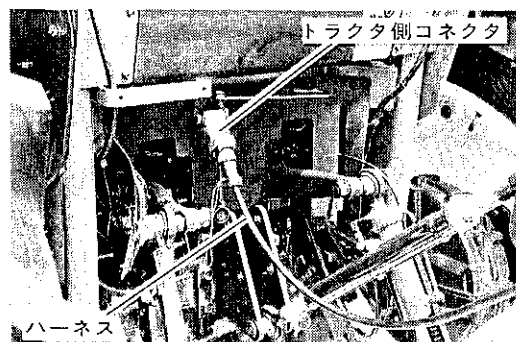
- ⑨ オートワイヤをセットします。

オートワイヤは、ワイヤ受けをワイヤブラケットに一番奥まで挿入します。フックバネはスナップピンで、本機のフィードバックリンクに取付けます。

QUICK-AF22・26



※OK-UFO仕様ロータリーの場合は、ハーネスをトラクターに接続します。



- ⑩ スタンドを収納します。(35ページ参照)

ロータリーの取り外しかた

⚠ 警告

- 作業機の着脱は、平坦な場所で行ってください。とくに夜間の作業機の着脱は明るい照明を用いるなど、安全に留意して行ってください。

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

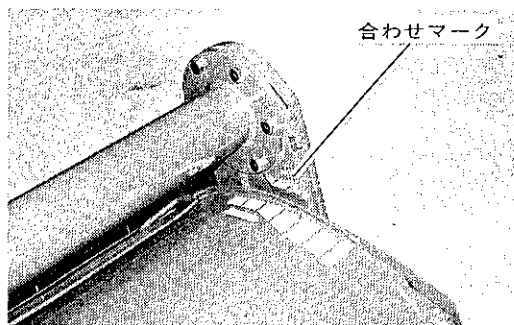
⚠ 注意

- スタンドを確実に固定してください。守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

取り外しは、取り付けの逆の手順で行ってください。

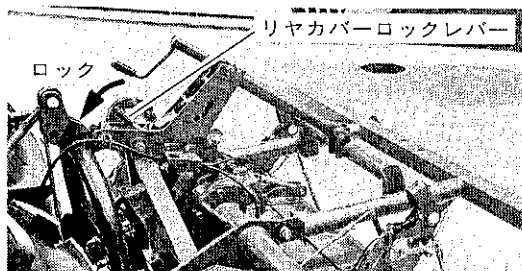
＜サイドロータリーの場合＞

- ①トラクターを平坦で固い場所に停止し、回転ハンドルを回し、ロータリーリカバーの両側に貼ってある位置指示銘板の、「標準」位置に合わせマークを合わせます。

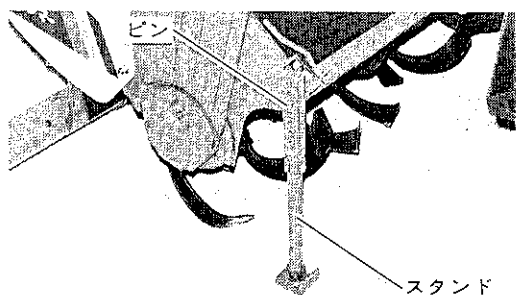


- ②ロータリーを下げて爪先端を接地させ、エンジンを止めます。UFO仕様の場合は、左右の傾きを調整し、爪全体が接地していることを確認します。

- ③リヤカバーロックレバーを「ロック」の位置にし、リヤカバーが上がらないよう固定します。

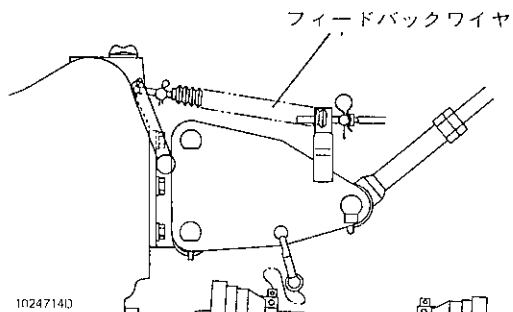


- ④回転ハンドルを回し、リヤカバー先端を接地させます。
- ⑤右側デフスフレームから、スタンドを引き出します。
- ⑥スタンドをロータリーカバー右側前の取付け位置に先端が地面に近い穴を選び、ピン1本で取付けます。



- ⑦オートワイヤを、トラクターから取外します。

QUICK-AF22・26

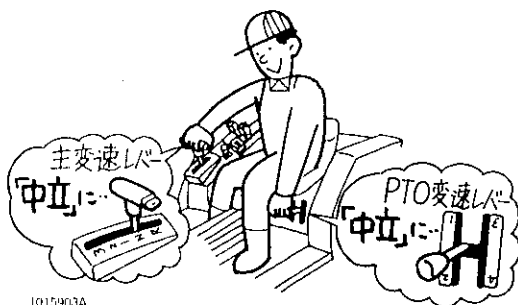


※UFO仕様ロータリーの場合は、ハーネスをトラクタから取外します。

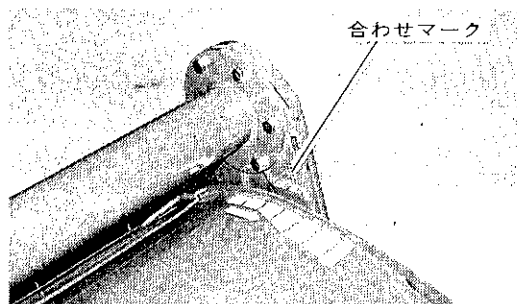
【取扱いの注意】

- オートワイヤは、外し忘れても切断しないように安全装置が付いていますが、必ず取外すようにしてください。

- ⑧トラクターに乗りPTO変速レバー、主変速レバーが「中立」の位置にあることを確認してからエンジンを始動します。



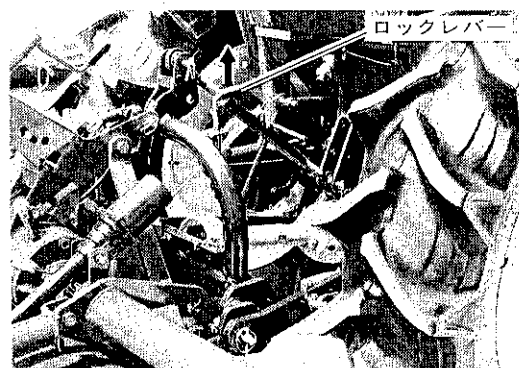
- ⑨ポジションコントロールレバーでロータリを上げ、回転ハンドルを代かき方向に約7回転回してください。



※ロータリーカバーに貼ってある「着脱位置」は、一応の目安です。

＜センターロータリーの場合＞

- ①ロータリーを平坦なところに降ろします。
- ②デブスビームをいっぱい、後ろへ下げます。
- ③スタンドを立て、ロックピンで固定します。
- ④耕深調節ハンドルを回し、スタンドを接地させます。
- ⑤＜サイドロータリの場合＞の⑦・⑧と同様の手順で行ないます。
- ⑥ポジションコントロールレバーでロータリを上げ、耕深調節ハンドルを浅い方向に10回程度回します。
- ⑦＜サイドロータリーの場合＞の⑩～⑫と同様の手順で行ないます。
- ⑧ロックレバーを引き上げます。



- ⑨ポジションコントロールレバーでロータリをゆっくりと下げ接地させ、トラクターをゆっくりと前進(約10cm程度)させて止まってください。
- ⑩ロアリンクピンとクイックヒッチのフックが外れたことを確認して、再度トラクターをゆっくり前進すればロータリーは完全に外れます。

5. クイックヒッチ (K仕様オプション)

日農工規格

標準オートヒッチ (O、I兼)

型 式	QUICK -AF33	QUICK -AF35J
適用トラクタ	AF-30 AF-33	AF-30J AF-35J

- ロータリの着脱が、ドライブシャフトの接続も含めワンタッチで行えます。
- 日農工規格、標準オートヒッチ (O、I兼) 形を採用しており、幅広い作業機の着脱がワンタッチで行えます。

⚠ 警告

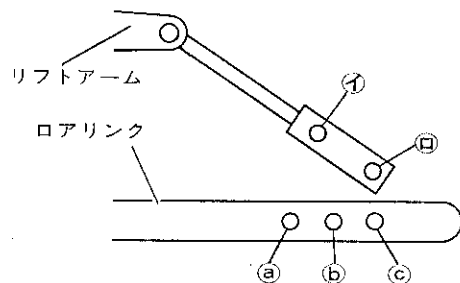
- 作業機の着脱は、平坦な場所で行ってください。とくに夜間の作業機の着脱は明るい照明を用いるなど、安全に留意して行ってください。
- トラクターを移動して作業機を着脱する場合には、トラクター周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

クイックヒッチの準備

- ①リンクヒッチの取付けは標準ロータリと同じです。(43ページ参照)

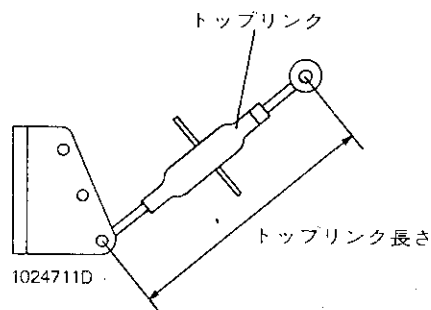
- ②ロアリンクとリフトリンクを組付けます。

ロアリンク穴位置	⑧
リフトリンク穴位置	⑦
チェックチェーン穴位置	③



- ③トップリンをリンクヒッチに取付けます。

※トップリンは、トラクターに標準装備の物を使用してください。



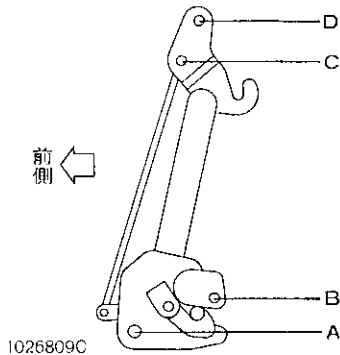
トップリンの長さ

	トップリン長さ
AF-30 AF-33	655mm
AF-33J AF-35J	620mm

- ④左右のチェックチェーンをゆるめ、左右のロアリンクにクイックヒッチ側のロアリンクピンを装着します。

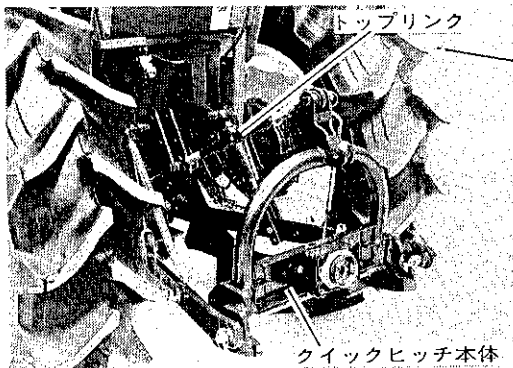
＜クイックヒッチ装着位置＞

- ロアリンクピン位置……………B
- トップリンク取付位置……………D



※本ヒッチは作業機によって、タイヤと触れて装着できない場合は、ロアリンクピン位置をAに組替えて装着できます。「特殊な取付けかた(51ページ)」を参照してください。

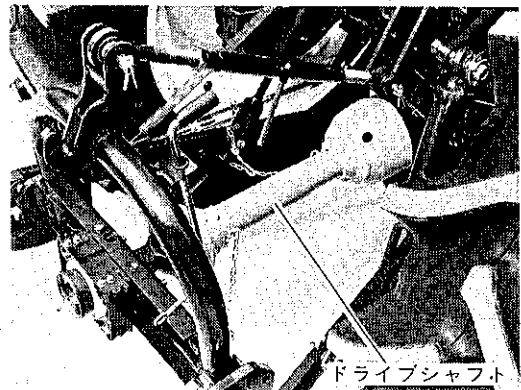
- ⑤クイックヒッチ本体にトップリンクを取付けます。



※クイックヒッチが本機を中心線にくるようにチェックチェンのターンバックルを調節してください。チェックチェンの遊びは、ロアリンクピン位置で左右10mm程度ゆれるようにしてください。調節ができたなら、チェックチェンのターンバックルにスナップピンを差込みます。

- ⑥ドライブシャフトを装着します。

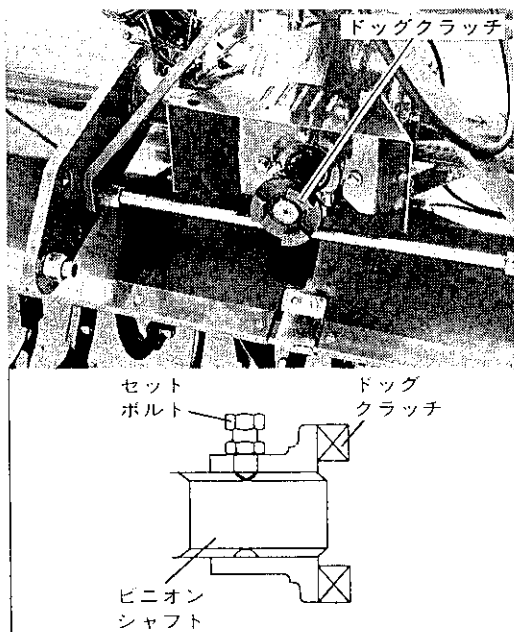
要領は、等速側ヨーク(銘板矢印方向)のロックピンの頭を押えながらトラクタのPTO軸に取付けます。ただし、このときヨークのロックピンがPTO軸の溝位置をこえて奥まで挿入します。



- ⑦反対側のロックピンの頭を指で押えながらクイックヒッチ本体の入力軸に差込んでロックピンで固定します。本機に挿入してあるヨークを手前に引き、ロックピンがPTO軸溝に落ちるのを確認してください。

- ⑧ドライブシャフトの安全カバーの回り止めチェンは、右または左のロアリンクに掛け、チェンとチェンを継いでください。

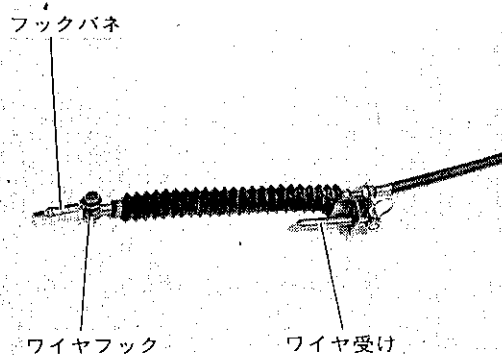
- ⑨ロータリーのピニオンシャフトヘドッグクラッチを取付け、セットボルトで固定します。



【取扱いの注意】

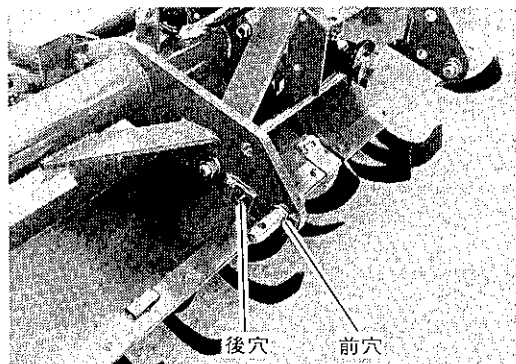
- ピニオンシャフトの溝に合せて、セットボルトを確実に締めてください。

- ⑩オートワイヤを図のようにセットします。



※UFO仕様ロータリの場合は不要です。

- ⑪ロータリーのロアリンクピンを、前穴に組替えてください。



【取扱いの注意】

- ロータリーの出荷時は後穴にセットされています。組替えないと装着できません。

6. 作業機による特殊な 取付けかた

⚠ 警告

- 作業機が後方に下がるため、重量の重い作業機では前後のバランスが悪くなります。そのような場合は、フロントウエイトを装着してください。

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

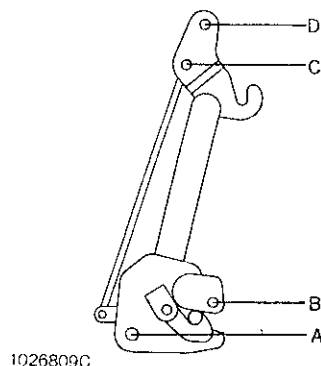
ロータリーの取り付け方

44ページを参照してください。

ロータリーの取り外し方

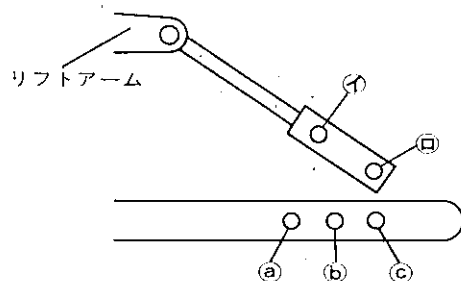
46ページを参照してください。

作業機により、タイヤと触れて装着できない場合は、クイックヒッチのロアリンクピン位置を下図BからAに組替えてください。

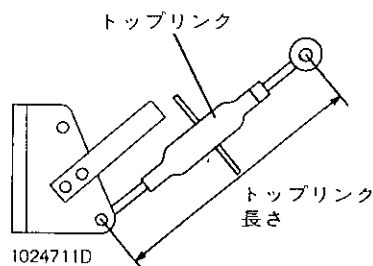


＜ロアリンクとリフトリンク穴位置＞

ロアリンク穴位置	(a)
リフトリンク穴位置	(b)
チェックチェーン穴位置	(c)



＜トップリンクの長さ＞



	トップリンク長さ
AF-30 AF-33	740mm
AF-33J AF-35J	680mm

＜クイックヒッチ装着位置(左図)＞

- ロアリンクピン位置…………… A
- トップリンク取付位置…………… D

あ行

OK-UFO

作業機の左右の傾きや耕深をコンピュータにより全自動で行なう装置。

オートロータリー

フィードバックワイヤー

自動で耕深の調整を行なうためのワイヤー。

か行

クイックヒッチ

トラクターに乗ったままワンタッチで作業機を装着できるヒッチ。

耕深

耕うんする深さ。

さ行

サイドドライブロータリー

爪軸を駆動するチェーンのケースがロータリーの左側にあるロータリー。

三角切欠

ロータリー培土機を装着する為に、リヤカバーの中心を三角形に切り欠いてあること。

センタードライブロータリー

爪軸を駆動するチェーンのケースがロータリーの中心にあるロータリー。

た行

チェックチェーン

トラクターに対し作業機が左右に振れる量を規制するチェーン。

デプスビーム

培土などの作業機を装着する際に用いる支柱。

デプスフレーム

デプスビームを支持する支柱。

トップリンク

作業機を装着する3点のリンクの内、作業機の上部をつり下げているリンク。

トラクターヒンジ

トップリンクを取り付けるトラクター側のヒンジ。

ドライブシャフト

トラクターの動力を作業機へ伝達する為の軸。

は行

フローティングリヤカバー

リヤカバーの中央部分をゴムでつなぐことにより、耕うんの均平性を向上させたリヤカバー。

ポジションコントロール レバー

作業機を上昇下降させるレバー。

PTO (パワー テイク オフ)

作業機の動力を取り出すための軸。

や行

油圧スローリターンバルブ

作業機の下降スピードを調整するバルブ。

ら行

リフトアーム

トラクターが作業機を上げる為のアーム。

リフトリンク

リフトアームとリフトリンクを連結しているリンク。

リンクヒッチ

トップリンクを取り付けるヒッチ。

ロアリンク

作業機を装着する3点のリンクの内、作業機の下部をつり下げているリンクで左右1本ずつある。

ロータリーの仕様

サイドロータリー

形 式	RSB 1404	RSB 1504	RSB 1604	RSB 1704	RSC 1604	RSC 1704	RSC 1804
適用トラクタ	AF-22 AF-24	AF-22 AF-24 AF-26 AF-28	AF-22 AF-24 AF-26 AF-28	AF-26 AF-28	AF-30 AF-33	AF-30 AF-33	AF-30 AF-33
駆 動 方 式	サイドドライブ						
装 着 方 式	特 3 P				標準 3 P		
耕 う ん 幅 (mm)	1400	1500	1600	1700	1600	1700	1800
耕 本 数	36	36	36	40	36	40	40
回 転 半 径 (mm)	245						
取付方式	ホルダー						

センターロータリー

形 式	RCB1504	RCC1704
適用トラクター	AF-22 AF-24 AF-26 AF-28	AF-30 AF-33
駆 動 方 式	センタードライブ	
装 着 方 式	特 3 P	標準 3 P
耕 う ん 幅 (mm)	1500	1700
耕 本 数	42	
回 転 半 径 (mm)	245	
取付方式	ホルダー	

トラクターとロータリーの組合せ

(この組合せは予告なく変更することがあります。)

トラクター		適用ロータリー			
馬力	型 式	サイドドライブ			センタードライブ
22	AF-22	RSB1404	RSB1504	RSB1604	RCB1504
24	AF-24	RSB1404	RSB1504	RSB1604	RCB1504
26	AF-26		RSB1504	RSB1604 RSB1704	RCB1504
28	AF-28		RSB1504	RSB1604 RSB1704	RCB1504
30	AF-30	RSC1604	RSC1704	RSC1804	RCC1704
33	AF-33	RSC1604	RSC1704	RSC1804	RCC1704

 : 標準仕様でのロータリーです。

このロータリーには 4 種類のリヤカバータイプがあります。

記号

- 標準タイプ……………表示なし
- 3 角切欠付……………E
- フローティング……………C
- リヤカバー短……………B (センターロータリーのみ)



ヤンマー農機株式会社

本社 〒530 大阪市北区茶屋町1番32号
 札幌支店 〒060 札幌市中央区北4条西2丁目1番地の3
 電話 (011)221-6138 FAX (011)221-6235
 仙台支店 〒983 仙台市若林区六丁の目元町16番1号
 電話 (022)288-7711 FAX (022)288-8972
 東京支店 〒362 上尾市春日1丁目32番1号
 電話 (048)776-3211 FAX (048)776-3888
 新潟支店 〒940 長岡市城岡3丁目31番3号
 電話 (0258)24-7920 FAX (0258)24-6114
 金沢支店 〒920-01 金沢市今町ワ48番地
 電話 (0762)57-3800 FAX (0762)57-6410
 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3丁目14番16号(東洋ビルディング6階)
 電話 (052)571-1177 FAX (052)571-2620
 大阪支店 〒530 大阪市北区茶屋町1番32号
 電話 (06)376-6355
 FAX (06)372-1165・(06)372-2455
 大阪サービスセンター
 〒660 尼崎市西高洲町16番地44
 電話 (06)411-5551 FAX (06)411-5666
 岡山サービスセンター
 〒702 岡山市藤崎570-1
 電話 (086)276-8171 FAX (086)276-8174
 西国サービスセンター
 〒763 丸亀市土器北2丁目43番地
 電話 (0877)22-3165 FAX (0877)22-3166
 福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号(日本生命ビル4階)
 電話 (092)441-0922 FAX (092)481-3477

お客様メモ

購入日	平成	年	月	日
購入店名				